

## 取扱説明書

### コイン式 洗濯脱水機

### CW-122 / CW-222



■このたびは本機をお買いあげいただきまして、まことにありがとうございます。

■ご使用前に必ず取扱説明書を読んで、正しく作業してください。

■お読みになった後は必ず保管してください。

## 目次

重要なお知らせ	1
安全上のご注意	2
<b>1 機械の仕様</b>	<b>6</b>
1.1 CW-122	6
1.2 CW-222	7
<b>2 据付工事について</b>	<b>8</b>
2.1 運搬・搬入	8
2.2 機械の据付	9
2.3 電気工事について	12
2.4 配管工事について	14
2.5 付属品	17
2.6 オートグリリス取付方法	17
2.7 洗剤・柔軟剤 取付方法	18
2.8 排油ホースについて	18
<b>3 お使いになる前に</b>	<b>19</b>
<b>4 取扱上の注意</b>	<b>19</b>
<b>5 機械の概要</b>	<b>20</b>
<b>6 運転操作方法</b>	<b>25</b>
6.1 表示部・操作部について	25
6.2 オーナー様の操作設定方法	28
6.3 日時の設定方法	31
6.4 機能の設定方法	33
6.5 プログラム設定方法	36
<b>7 標準プログラム</b>	<b>43</b>
7.1 標準プログラム(CW-122)	43
7.2 標準プログラム(CW-222)	44
<b>8 トラブル表示について</b>	<b>45</b>
8.1 トラブルモニター表示	45
8.2 エラーの内容と解除方法	45
8.3 停電時の処置	47
<b>9 点検・整備</b>	<b>48</b>
9.1 日常点検	48
9.2 定期点検	49
保守・点検項目(日常点検)	51
保守・点検項目(定期点検)	51
<b>10 保証とアフターサービス</b>	<b>52</b>
<b>11 アフターサービスについて</b>	<b>53</b>

# 重要なお知らせ

---

## ■ 本製品について

- 本製品をお使いになるときは、必ず本書に従ってください。  
本書の記載内容を守らない事により生じた損害に関しては、当社は一切の責任を負いません。
- 製品本来の使用目的以外に使用して生じた損害に関しては、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品の仕様および外観は改良のため、予告なしに変更することがあります。
- 本製品は日本国内仕様であり、国外の規格などには適合していません。  
本製品を国外で使用された場合、当社は一切の責任を負いません。  
また、当社は本製品に関する国外での保守サービス、および技術サポートなどは行っておりません。

## ■ 本書について

- 本書の内容の一部または全部を、無断で転載することは禁止されています。
- 本書の内容については万全を期しておりますが万一、不審な点や誤り、お気づきの点等がございましたら、お買い上げの販売店までご連絡ください。
- その他、本書に記載している商品名は商標登録または商標になっている場合があります。




## ■ 移設・廃棄・譲渡について

- 本製品を移設する場合は、専門業者またはお買い上げの販売店までご相談ください。  
据付不備があると感電・火災の原因になります。
- 本製品を廃棄する場合は、産業廃棄物として扱われます。  
専門の廃棄業者へご依頼ください。詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。
- 本製品を転売・譲渡する場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

# 安全上のご注意

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。
- 表示と意味は次のようになっています。

## ■ 表示の説明







表 示	表 示 の 意 味
 <b>危険</b>	“取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷(※1)を負うことがあり、その切迫の度合いが高いこと”を示します。
 <b>警告</b>	“取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷(※1)を負うことが想定されること”を示します。
 <b>注意</b>	“取扱いを誤った場合、使用者が傷害(※2)を負うことが想定されるか、または物的損害(※3)の発生が想定されること”を示します。

※1：重傷とは失明やけが、やけど(高温・低温)、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院、長期の通院を要するものをさします。

※2：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが、やけど、感電などをさします。

※3：物的損害とは、家屋、家財および家畜、ペット等にかかわる拡大損害をさします。

## ■ 図記号の説明

図 記 号	図 記 号 の 意 味
 <b>禁止</b>	 は、禁止の行為を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
 <b>指示</b>	 は指示する行為の強制(必ずすること)を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
 <b>注意</b>	 は、注意を示します。 具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

## ■ オーナー様へ

- 「安全上のご注意」の中でご使用になる方への項目は、本機の注意ラベルで表示してあります。お客様や他の人への危害や損害を未然に防止するため、注意事項を守り、使用するよう管理、指導してください。
- 本機に表示してある「安全上の注意ラベル」が破れたり、はがれた場合は新しい注意ラベルに必ず貼り換えてください。
- 本機は「遠心機械」です、「法律により1年に1回の自主定期検査」が必要です。またその記録を3年間保管するよう義務付けられています。  
(労働安全衛生法 第45条1項、労働安全衛生規則 第141条3項、第299条)

## ⚠ 危険

### ◆ 子供など取り扱いに不慣れな方には使わせない

『やけど、感電、けがの危険性があります』

- ・子供だけで操作、または取り扱いに不慣れな方に操作させない。
- ・子供など、ドラム内に入って遊ばせない。
- ・思わぬ不注意で、やけど、感電、けがをするおそれがあります。



禁止

### ◆ 十分な換気をする

『酸欠事故の危険性があります』

- ・本機の設置状況に応じた給気口を行う。  
酸素不足などにより酸欠事故のおそれがあります。



換気実施

### ◆ 機械の異常に気付いたら電源を切る

『火災や爆発の危険性があります』

- ・煙が出ている、変なにおいがするなど異常がある場合は、電源を切り、販売店に修理を依頼する。地震や火災発生時は運転を停止してください。



電源切る

## ⚠ 警告

### ◆ 周辺では『火気厳禁』

『火災の危険性があります』

- ・本機の周辺にはストーブ、電熱器などの火気機器を絶対に置かない。  
また、周辺では禁煙にし灰皿の設置や、火気を取り扱わない。



火気厳禁

### ◆ 周囲に引火物を近づけない

『火災の危険性があります』

- ・本機の周辺、上部には可燃物を置かない。
- ・本機の周辺にガソリン、シンナー、灯油、アルコールなどの引火物を持ち込まない。



引火物禁止

### ◆ 洗濯以外の用途に使用しない

『機械故障の危険性があります』

- ・本機を衣類の洗濯以外に使用すると、故障や事故につながるおそれがあります。



用途外使用禁止

### ◆ ドラム内に衣類以外の物はいれない

『火災・感電・けがの危険性があります』

- ・ドラム内には衣類以外の物や動物を入れて運転しない。



衣類以外は  
運転禁止

### ◆ 濡れた手で操作しない

『感電、漏電の危険性があります』

- ・濡れた手で本機を操作したり、水をかけないでください。



水かけ禁止

## 警告

### ◆ 各ボタンやスイッチは指で操作する

『機械故障の危険性があります。』

- ・各ボタンやスイッチを先のとがったもの(ボールペンなど)で操作すると、故障や事故のおそれがあります。



禁止

### ◆ 本機のカバーを開けたまま運転しない

『やけどの危険性があります』

- ・本機の前面カバー、後部のカバーを開けたまま、運転をしない。(お客様がけがを負うおそれがあります)
- ・「回転部」に触れるとけがを負うおそれがあります。



カバーを開け  
運転しない

### ◆ ドアまわりのすきまに手を入れない

『けがの危険性があります』

- ・振動部分などへの接触による、けがのおそれがあります。



けが注意

### ◆ 衣類の取り出しはドラムが停止してから

『衣類が巻きつき、けがの危険性があります』

- ・衣類の取り出しは、必ずドラムの回転が完全に停止したことを確認してから行ってください。
- ・ドラム回転中は、ドアを開いて手を入れないでください。



回転中  
取り出し禁止

### ◆ ドラム内の清掃に可燃物を使用しない

『爆発、火災の危険性があります』

- ・ドラム内の清掃にシンナー、石油などの可燃物を使用しないでください。



可燃物使用禁止

### ◆ 分解・改造・修理をしない

『火災、感電、けがの危険性があります』

- ・お客様ご自身で本機の分解・改造・修理をしない。
- ・修理はお買い上げの販売店にご連絡ください。  
感電やショートによる火災、また異常動作によるけがのおそれがあります。  
また、警告ラベルの取り外し、破損、改造はしない。



分解禁止

### ◆ 長期間ご使用にならない時は

『火災、感電、けがの危険性があります』

- ・電源を切る。  
絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。



電源確認

### ◆ 廃棄処分するときは

『閉じ込め事故の危険性があります』

- ・本機を廃棄される場合は、子供のいたずらによるとじ込め事故防止のためドアを取り外してください。



廃棄時ドア分解

## 注意

### ◆ 衣類を確認する

『火災や発煙の危険性があります』

- ・ポケットの中を確認して、マッチやライター、ヘアピン、硬貨、くぎなどを取り出してください。



衣類確認

### ◆ 衣類は十分に脱水する

『感電・火災の危険性があります』

- ・しずくのたれるような衣類を入れない。



禁止

### ◆ 洗濯物を入れすぎない

『洗濯物を痛めてしまうおそれがあります』

- ・衣類は洗濯機に表示している適量ライン以内で、ドアに衣類を挟まないように入れてください。



入れすぎ注意

### ◆ 厚手の綿ふとんや大きすぎるふとんは洗濯しない

『洗濯物が破れてしまう危険性があります』

- ・厚手のふとんは洗濯中に破れるおそれがあるので洗濯しないでください。  
(キルティング加工したこたつふとんや化学繊維のふとんは洗濯できます)



厚手の布団  
洗濯禁止

### ◆ 防水性のシート等を入れない

『機械の破損・洗濯物の損傷の危険性があります』

- ・防水シートや袋など、水が溜まるものは洗濯をしないでください。



防水物禁止

### ◆ 水などが入った場合

『感電・火災の危険性があります』

- ・万一、本機内部または電装部に水が入ったときは運転を停止し、電源を切り販売店に連絡する。



電源を切る

### ◆ 水(湯)が入ったままで停止したとき

『感電・漏電・やけどの危険性があります』

- ・水(湯)が入った状態で機械が停止したときは、ドアを開けずに電源を切り、お買い上げの販売店にご連絡ください。



電源を切る

### ◆ 塩素系漂白剤は直接衣類にかけない

『衣類変色のおそれがあります』

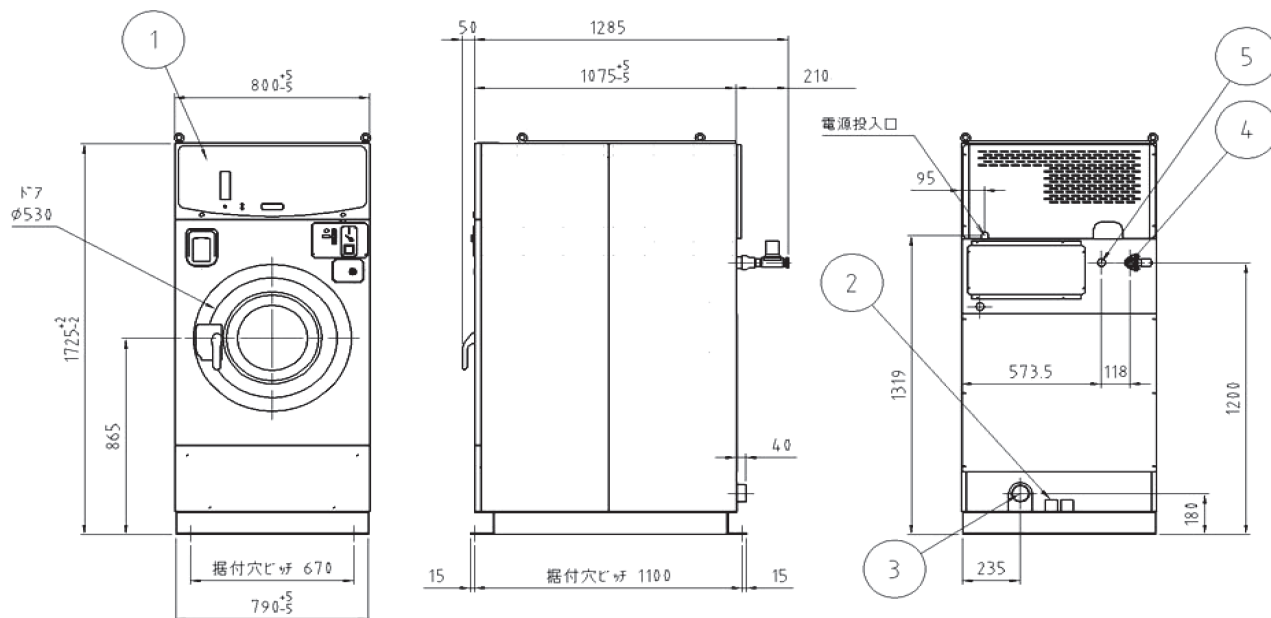
- ・塩素系漂白剤は直接衣類にかけないでください。



塩素系漂白剤  
使用禁止

# 1 機械の仕様

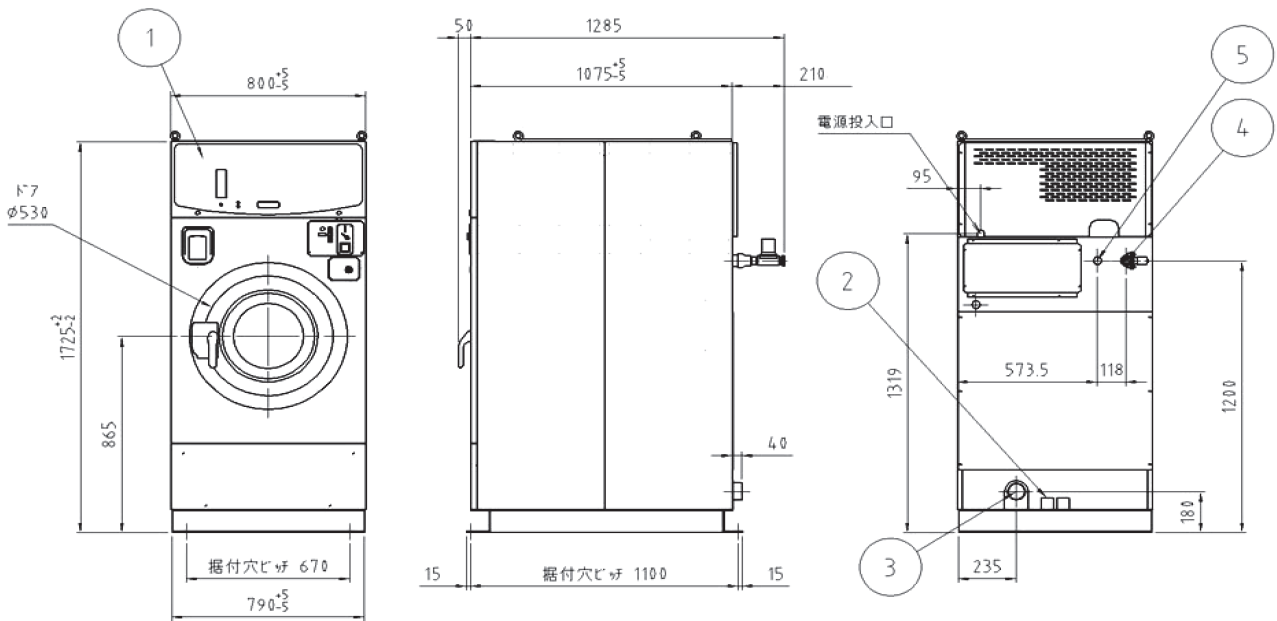
## 1.1 CW-122



No.	項目		単位	CW-122
1	電源			AC200V 三相 50/60Hz
2	定格消費電力	洗濯	W	1100
3	電動機容量(インバータ駆動)	ドラム	kW/Pole	2.2/4
4	負荷量 呼称/JIMS	洗濯	kg	12/7.8
5	ドラム寸法(径×奥行mm)		mm	φ630×389
6	洗浄方式			ドラム回転による被洗物たたき洗い
7	制御マイコン			CL5 マイコン
8	ドラム回転数	洗濯(5段階)	rpm	44・46・48・50・52
		バランス(3段階)		65・70・85
		脱水(5段階)		600・700・750・800・850
9	配管口径	給水		20A
		給湯		20A
		排水		65A
10	機械寸法(巾×奥×高)		mm	800×1285×1725
11	機械質量		kg	500
12	保存条件(温度/湿度)		℃/%	-25~60/10~80
13	運転条件(温度/湿度)		℃/%	5~40/10~80
14	安全装置	ドアSW/自動ロック装置		近接スイッチ、電磁ソレノイドロック方式
		アンバランス検出		リミットスイッチ
15	洗剤投入			液体洗剤用ポンプ 2連
16	コイン投入器仕様			つり銭機能なし、返却機能なし
17	金額設定範囲			100~9900・100円単位 (100円・500円)

※本仕様ならびにデザインは改良のため、予告なく変更することがあります。

# 1.2 CW-222







No.	項目		単位	CW-222
1	電源			AC200V 三相 50/60Hz
2	定格消費電力	洗濯	W	2300
3	電動機容量 (インバータ駆動)	ドラム	kW/Pole	3.7/4
4	負荷量 呼称/JIMS	洗濯	kg	22/15.7
5	ドラム寸法 (径×奥行mm)		mm	φ760×510
6	洗浄方式			ドラム回転による被洗物たたき洗い
7	制御マイコン			CL5 マイコン
8	ドラム回転数	洗濯 (5段階)	rpm	37・39・41・43・45
		バランス (2段階)		55・70
		脱水 (5段階)		500・600・650・700・750
9	配管口径	給水		20A
		給湯		20A
		排水		65A
10	機械寸法 (巾×奥×高)		mm	940×1385×1725
11	機械質量		kg	660
12	保存条件 (温度/湿度)		℃/%	-25～60/10～80
13	運転条件 (温度/湿度)		℃/%	5～40/10～80
14	安全装置	ドアSW/自動ロック装置		近接スイッチ、電磁ソレノイドロック方式
		アンバランス検出		リミットスイッチ
15	洗剤投入			液体洗剤用ポンプ 2連
16	コイン投入器仕様			つり銭機能なし、返却機能なし
17	金額設定範囲			100～9900・100円単位 (100円・500円)



※本仕様ならびにデザインは改良のため、予告なく変更することがあります。



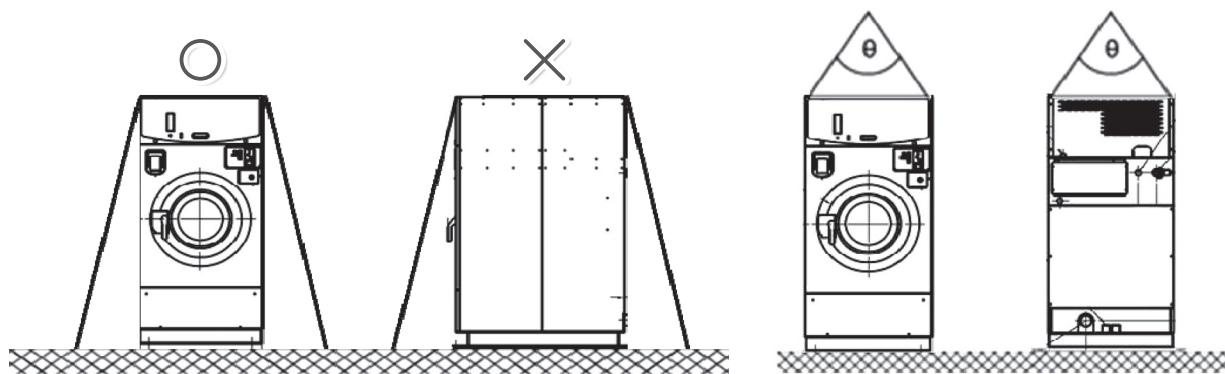
## 2 据付工事について

 <b>警告</b>	<b>◆据付工事は、『専門の工事業者へ依頼してください』</b> 感電やショートによる火災、本機や建物の破損のおそれがあります。	 <b>専門業者へ依頼</b>
 <b>警告</b>	<b>◆製品を安全に使用していただくために据付工事説明書をよくお読みいただき十分に理解してください。</b>	 <b>強制</b>

### 2.1 運搬・搬入

 <b>注意</b>	<b>◆運搬・搬入工事は、『専門の工事業者へ依頼してください』</b> 本機が転倒してけがの危険性があります。	 <b>専門業者へ依頼</b>
---	--	---

- (1) 本機への極度の衝撃、損傷を与えないよう取り扱ってください。
- (2) 降雨の場合は、必ず本機にビニールシート類を掛けて、雨水が機械内(特に制御ボックスの中)に入らないよう注意してください。
- (3) クレーンなどで機械を吊り上げる場合には、機械上部の「吊上げフック」に掛けてください。
- (4) 玉掛作業は、資格習得者が行ってください。
- (5) 機械重量に見合ったワイヤ類を選定して玉掛作業を行ってください。
- (6) ワイヤを使用する場合は「玉掛用」ワイヤを使用してください。
- (7) 吊り上げの際は、4本吊り、吊り角度 $\theta$ は60度未満にて行ってください。



- (8) 輸送する際、ロープ掛けし本体が傷まないように注意してください。特に、ロープの締めすぎには十分注意してください。

※ロープは左右から掛けてください。【前後に掛けないでください。】

## 2.2 機械の据付

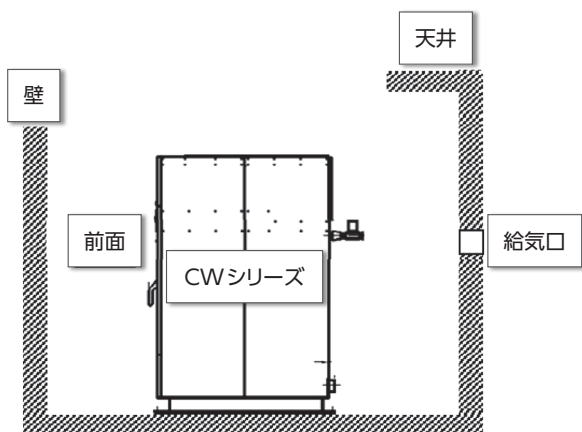
### 注意

◆本機の据付工事は、『専門の工事業者へ依頼してください』  
据付工事をされる方は本機の据付工事説明書に従って工事を行ってください。



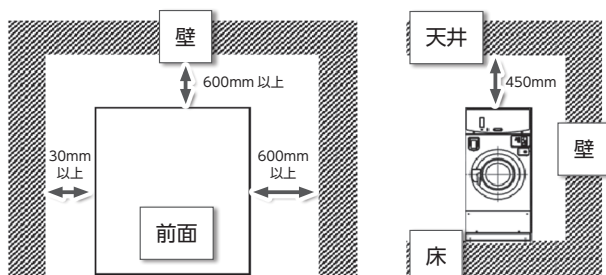
### 警告

- ◆本機は室内専用です。必ず屋内に設置してください。  
屋外で風雨にさらされる場所に置くと、感電や故障の原因となります。
- ◆年間を通して40℃以下の環境が保たれる場所に設置してください。  
周辺温度が高い場所に設置すると故障の原因になります。
- ◆ガソリン、ベンジンなどの引火性の危険物を貯蔵または取り扱う場所には設置しないでください。  
爆発、火災が起こるおそれがあります。
- ◆湿気の多い場所には設置しないでください。  
機械が故障したり、感電や漏電による火災のおそれがあります。



- ・密閉されたところでは使用しないでください。  
(必要な面積の給気口を取り付けてください)
- ・強い風の吹き込む所では使用しないでください。

## (2) セッティングスペース



- ・メンテナンス性、安全性、配管、配線などを考慮したスペースです。  
『必ず確保してください』
- ・上部高さ方向は450mm以上のスペースを取ってください。
- ・本機を2台以上並べて使用する場合、前面板の開閉がスムーズに行える間隔を取ってください。

### (3) 輸送金具の取り外しについて



**警告**

◆アンカーボルトを取り付ける前に輸送金具を取り外してください。

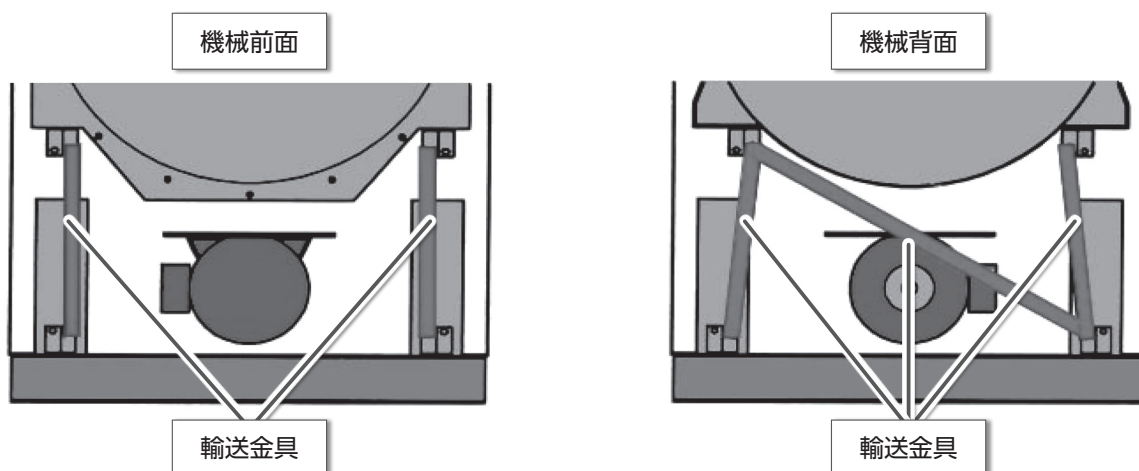
この機械の輸送金具は機械前面に2個、機械背面に3個にあります。(計5個)

輸送金具を付けたまま運転すると、機械が破損するおそれがあります。

輸送金具を取り外す時は、必ず手袋、長袖等の保護具を着用してください。



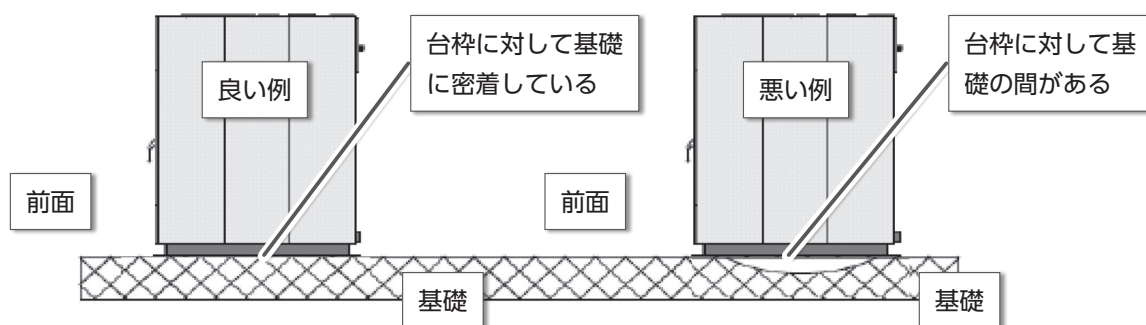
**強制**



### (4) 据付

※必ず輸送金具を取り外してから行ってください

- ・地震やその他の振動、衝撃により容易に転倒、亀裂、破損しないように、十分な強度を有する床に付属のアンカーボルトで堅固に固定してください。
- ・近隣への騒音や、機械の異常振動のおそれがあるため、基礎の深さは地盤により異なりますが、基礎コンクリートは200mm以上の厚さを確保してください。
- ・機械の水平(前後・左右方向にガタつきがないこと)を確認してください。



※基礎コンクリートの厚さは200mm以上確保してください。

※基礎コンクリートに対して、中空部(排水口、溝など)によって台枠が完全に密着していない場合、振動の原因になる事があります。

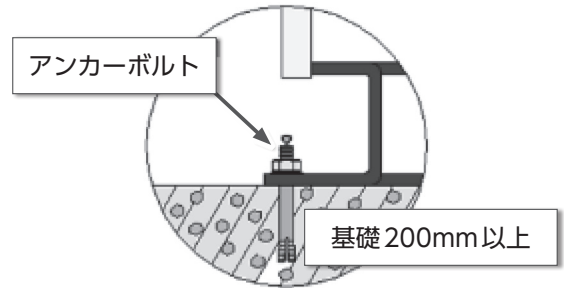
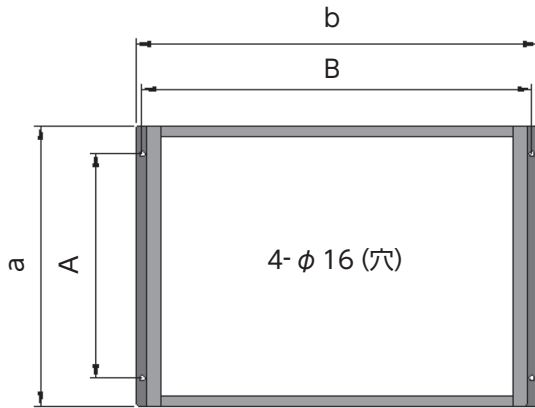
- ・付属のアンカーボルトで前後4カ所を固定してください。

### 据付寸法表

機種	A (mm)	a (mm)	B (mm)	b (mm)
CW-122	670	790	1,100	1,130
CW-222	810	930	1,200	1,230

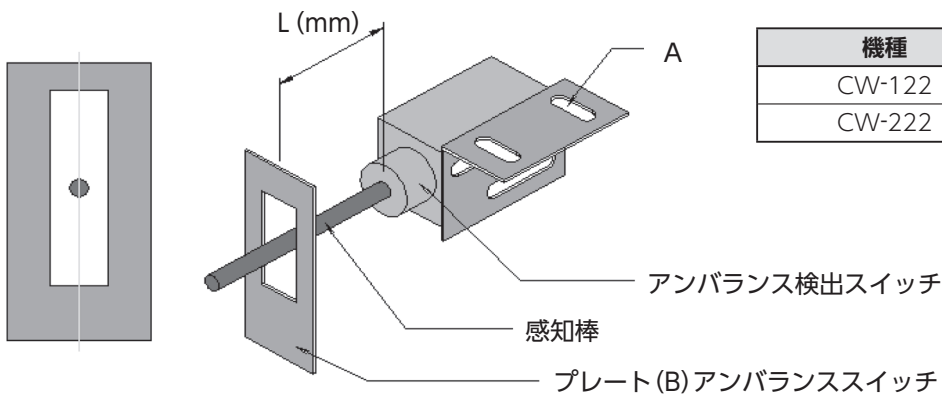
φ 12×6吋のアンカーボルト使用の場合

基礎コンクリートの厚さは200mm以上を確保してください。

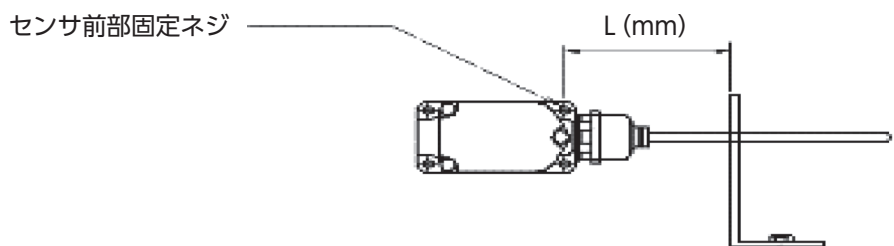


## (5) アンバランス検出スイッチの調整

- ①機械据付終了後、試運転前にアンバランス検出スイッチの感知棒の位置を確認してください。  
※機械前側のパネルセンタを外した中のシェルAssy上部にあります。
- ②感知棒がプレート(B)アンバランススイッチの左右の中心にない場合は、感知棒の深さ(L寸法)を変えないように(A)部のボルトを緩めて、中心にくるように調節してください。



機種	L (mm)
CW-122	71
CW-222	66



## 2.3 電気工事について

本機はインバータを使用しております、下記「電気工事の注意事項」に添った施工をしてください。



**警告**

- ◆電気工事は必ず「電気工事士の資格」を有する者が行ってください。  
感電、火災の危険性があります。
- ◆据付工事の際には銘板を確認して使用する電源が適用しているか確認してください。  
電源仕様が異なっていると、故障や異常動作によるけがのおそれがあります。
- ◆電気配線とガス管は近づけないでください。  
電気配線はガス配管から15cm以上離してください。  
また、電気配線は金属管または合成樹脂管で保護してください。  
爆発事故のおそれがあります。
- ◆本機を据え付けるときは過電流遮断器内蔵型の漏電遮断器を取り付けてください。  
故障し、漏電または過電流が流れたとき、感電、火災のおそれがあります。
- ◆故障などの理由により電源コードを交換する場合、お買い上げ販売店また専門の工事業者に工事を依頼してください。
- ◆故障、修理時や落雷の可能性がある場合は元電源を切ってください。  
感電もしくは機械の故障の原因になります。



**強制**

### ①電気容量

機種	ブレーカー容量	引込みコード
CW-122	15A	より線 2.0mm <sup>2</sup>
CW-222	20A	より線 3.5mm <sup>2</sup>

②土間、コンクリート床、洗い場など湿気や水気のある場所に据え付けるときは、漏電遮断器の取り付けが法令で義務付けられています。

③主幹に使用する漏電遮断器(ELB)はインバータ専用(感度電流100mA)のものを使用してください。

※上記以外の漏電遮断器では、高調波漏洩電流により誤動作し、使用不能となります。

④機械毎に漏電遮断器(ELB)を取り付する場合は感度電流30mAのものを使用してください。

⑤本機はインバータを使用しています。

電源端子での絶縁測定(メガテスト)は行わないでください。

半導体素子が破損します。

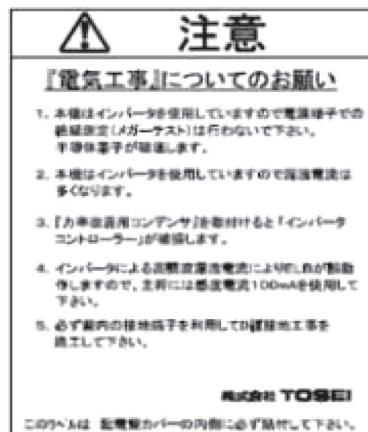
この内容を記載した『電気工事』についてのお願いラベルを配電ボックスに貼りつけてください。

※ラベルは本体ドラム内の保存袋に同封してあります。

⑥力率改善用コンデンサは、絶対に取り付けしないでください。

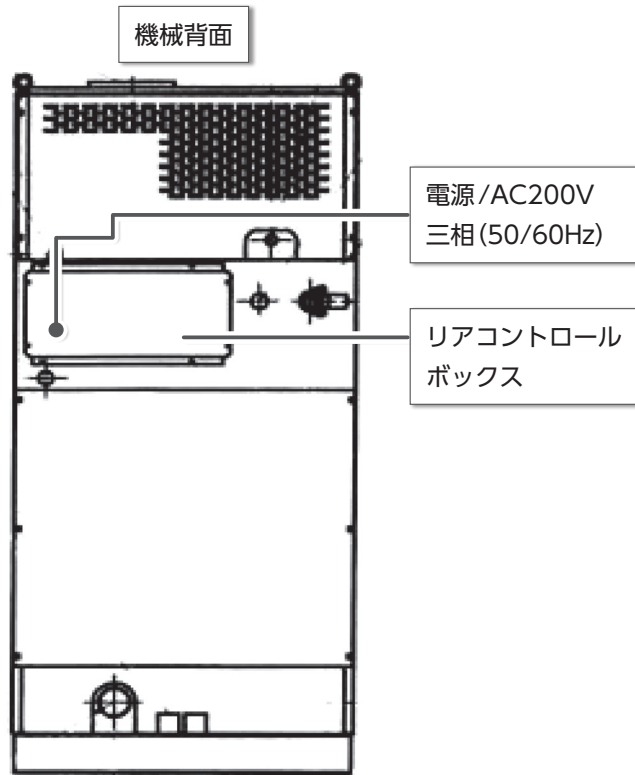
※コンデンサを取り付けると、インバータが破壊します。

⑦電気配線は、出来るだけ金属管または合成樹脂管で保護してください。



配電配電盤貼付用ラベル〈見本〉

- ⑧電気配線は、高温部(燃焼部など)に接近させないでください。  
(15cm以上離す)
- ⑨電源コードはパネル類または水道、ガス配管に結束しないでください。
- ⑩機械の回転方向の確認をしてください。
- ⑪電源コードの引き回し



**警告**

◆アース線は確実に取るため、必ず『専門の工事業者』へ依頼してください。

火災、感電の危険性があります。

次のようなところはアース線を接続しないでください。

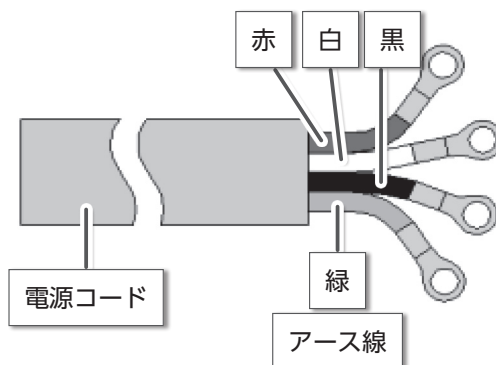
- ・水道管…配管途中で塩化ビニル配管の場合、アースされません。
- ・ガス管…爆発や引火の危険があります。
- ・電話線のアースや避雷針  
…落雷時、大きな電流が流れて危険です。



**アース線は  
確実に取る**

- ⑫万一の感電や落雷時における事故防止および、制御回路の耐ノイズ性を向上させるために接地工事『アース』は、盤内の接地端子を利用してD種接地工事(接地抵抗100Ω以下)を施工してください。

三相200V	
赤	R
白	S
黒	T
緑	⏚



## 2.4 配管工事について

### (1) 給水(給湯)配管工事



**注意**

◆上下水道の配管工事は「市町村の指名業者」が行う必要があります。『指定給水装置工事事業者』へ依頼してください。



指定業者へ依頼

給水元バルブを開いて、水量、水圧(0.2MPa (2kgf/cm<sup>2</sup>)以上であることを確認してください。

- ①給水配管と製品本体は、取り外しできるようにユニオンで接続してください。
- ②水圧が0.2MPa (2kgf/cm<sup>2</sup>)未満または、シスタンクを使用している場合は、給水に時間がかかり、トラブル表示『水位』が点灯する場合があります。
- ③水圧が高い場合は、ウォーターハンマが起き、給水弁あるいは配管を破損するおそれがありますので、別途防止対策を行ってください。水圧が高い条件でご使用される場合は、必ずウォーターハンマ防止の配管を行ってください。
- ④凍結によりホースが破損すると水漏れが生じ、感電や漏電の原因になりますので、冬場凍結のおそれがあるときは、ホース破裂防止の水抜き配管を行ってください。

※給湯配管も同様の工事を行ってください。

### (2) 水道配管への直結配管工事の場合



**注意**

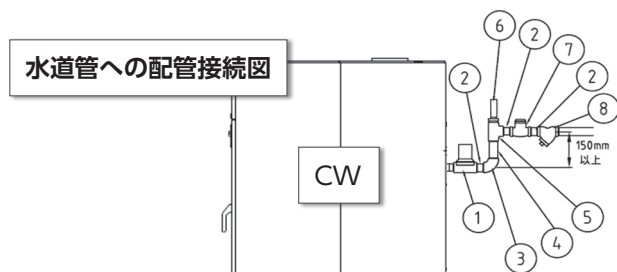
◆本機は、水道法第16条に基づき、水道法施工令第6条に規定する給水装置の自己認証をしております。  
◆必ず水道法に基づき工事を実施してください。



指定業者へ依頼

水道配管への直結配管工事の場合は下記施工工事を実施してください。

- ①給水配管の入口側にNo.7の逆流防止(チャッキバルブ)を接続してください。
- ②水圧の高い場合はウォーターハンマが起き、給水弁等を破損するおそれがある為、No.6の水撃防止器の取り付けをしてください。
- ③給水、給湯口にストレーナを接続してください。
- ④給水装置の自社検査証が必要な場合は弊社までご連絡ください。



No.	部品名	形式	No.	部品名	形式
1	電磁弁	3/4"	5	チーズ	3/4"
2	ニップル	3/4"	6	水撃防止器	3/4"
3	エルボ	3/4"	7	チャッキバルブ	3/4"
4	ニップル	3/4"	8	ストレーナ	3/4"

#### ※施工上の注意点

- ・チャッキバルブは、給水弁より150mm以上上方に取り付けてください。
- ・チャッキバルブは流れる方向に注意して水平に取り付けてください。
- ・本体と給水管の間には必ず長さ300mm以上のフレキシブルチューブを使用してください。機械の振動により配管の緩み、破損、または建物の振動の原因となります。
- ・給水配管を行う場合、入口側に必ず逆流防止(チャッキバルブ)配管をおこなってください。
- ・建物の床下、天井および壁、柱等に添わせて配管する場合には、自重、水圧等による振動やたわみ等により損傷を受けやすいため、配管の管種、口径の適した支持金具を取り付け、建造物に支持固定すること。

### (3) 排水管工事について

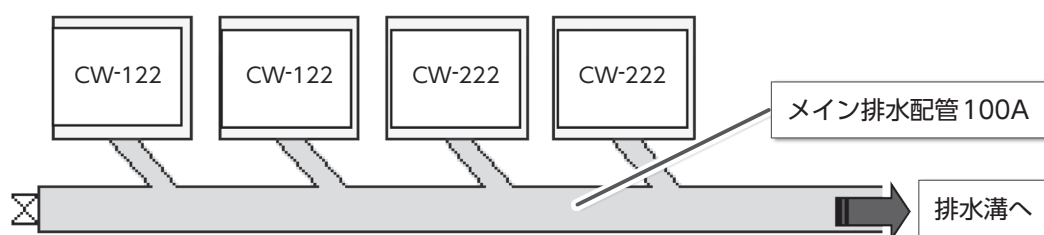
CW-122・CW-222の集中排水配管、連結集中排水配管は下記の表に従って施工してください。

CW-122 設置台数	CW-222 設置台数	合計設置台数	集中配管メインラインの配管口径
1	1	2	100A
1	2	3	
2	1	3	
2	2	4	
2	3	5	
3	2	5	
3	3	6	
3	4	7	
4	3	7	100A × 2
4	4	8	

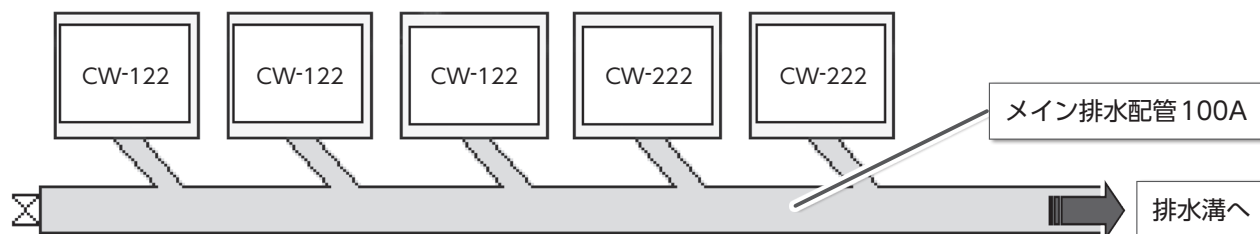
※その他の設置台数については、弊社にお問い合わせください。

- ・本体からメイン排水配管への接続は、Y型異径チーズを使用し、メイン配管は排水が流れやすいように適宜勾配をつけるように施工してください。
- ・本体からの配管接続は保守メンテナンスのため、ジャバラホース等で取り外しできるように施工してください。  
排水管が長い場合はエア抜きを取り付けてください。
- ・排水管の関係で先細りでないと接続できない場合は異径ソケットにて径をおとして接続してください。  
排水管にテープを巻きつけて接続すると、異物が排水管に引っかかってしまうおそれがあります。
- ・排水配管と排水ホースは、ホースバンドでしっかり接続してください。

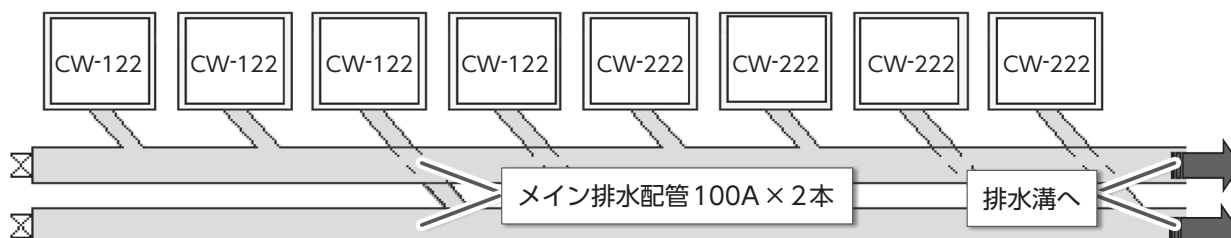
[設置施工例1] : CW-122を2台・CW-222を2台 合計4台の施工例



[設置施工例2] : CW-122を3台・CW-222を2台 合計5台の施工例



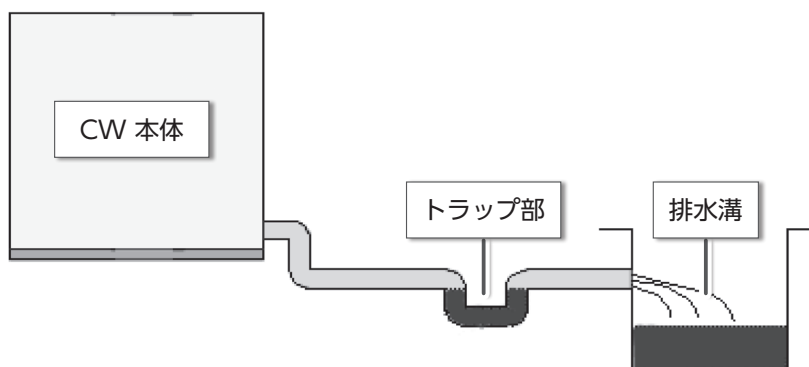
[設置施工例3] : CW-122を4台・CW-222を4台 合計8台の施工例





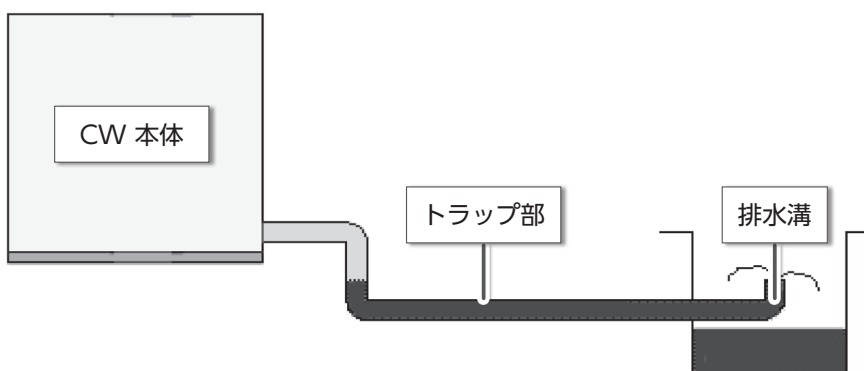
## (4) メイン排水配管の末端処理

[例1]



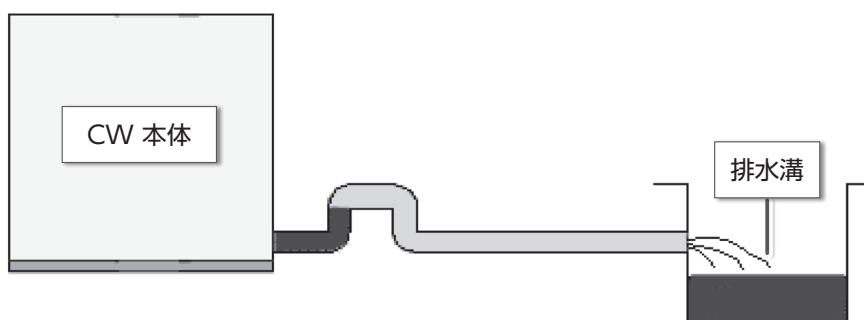
※浄化槽等よりの異臭がドラム内に流入することを防ぐために、水貯まり装置(トラップ)を付けてください。

[例2]

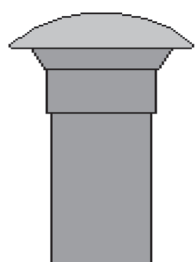


※排水配管の末端部にエルボを上側に向けて取り付け、水が貯まっているように施工してください。但し、本体の排水口よりも低い位置で吹き出るようにしてください。

[排水配管の悪い例]

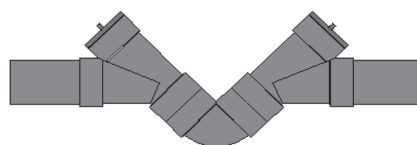


※機械本体の排水口出口配管より上側に向けて排水配管はしないでください。排水ができなくなり、排水エラーなどのトラブルが発生します。



排水管用のエア抜き弁

入口側⇒



⇒出口側

汚臭防止トラップの施工例

## 2.5 付属品

No.	名称	個数
1	取扱説明書	1
2	オートグリス	1
3	スペーサ	12
4	アンカーボルト (オールアンカ M12)	4
5	プレートアンカーボルト	18

No.	名称	個数
6	圧着端子	4
7	配線図	1
8	電気工事ラベル(E)	1
9	ヒューズ(250V 1A)	1
10	ヒューズ(250V 5A)	1
11	チャッキバルブ	1

## 2.6 オートグリス取付方法

弊社洗濯機の軸受部には、「オートグリス」を使用しております。

- ①オートグリス本体「下部」のダイヤルを「3mmの六角レンチ」で「下記」の数値【12】を▼印の所まで時計回りで回して設定してください。
- ②取付日と次回の交換予定日を記入してください。
- ③オートグリス本体にシールテープを巻いてください。
- ④オートグリス本体の先端突起部をカッターもしくはニッパー等でカットしてください。先端突起部をカットした部分にグリス突出穴が開いているか必ず確認し、ソケットにねじ込み、取り付けてください。

※先端突起部をカットするにあたって細心の注意をし、けがをしないようにしてください。

※オートグリス本体の交換は約12ヵ月です

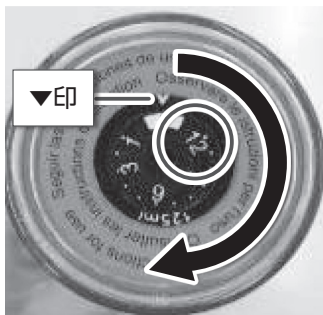
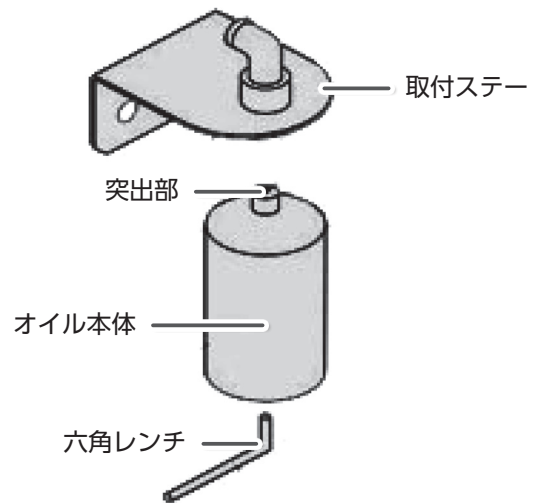
(25℃使用)

※取付より12ヵ月経過または内部のオイルがなくなった場合は交換してください。

※オイルの補給を怠りますと、オイルシールの早期摩耗、故障の原因となります。

※設置する場所の温度により吐出量が変わります。

※長期間使用しないときは本体下部ネジ込み部を「0」に戻してください。



オートグリス下部▼を「12」に合わせる



ネジ部にシールテープを巻きつける

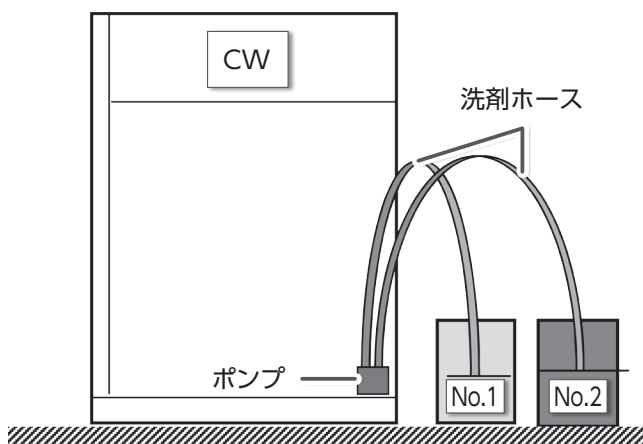


吐出部を切り落とす

<仕様> ◆仕様温度範囲：-20～+55℃

◆オイル型名：「純正オイル」

## 2.7 洗剤・柔軟剤 取付方法



### 取付方法

- ・洗剤、柔軟剤などの缶にソープ投入ホースを差し込んでください。

No.	ポンプ
1	洗剤
2	柔軟剤

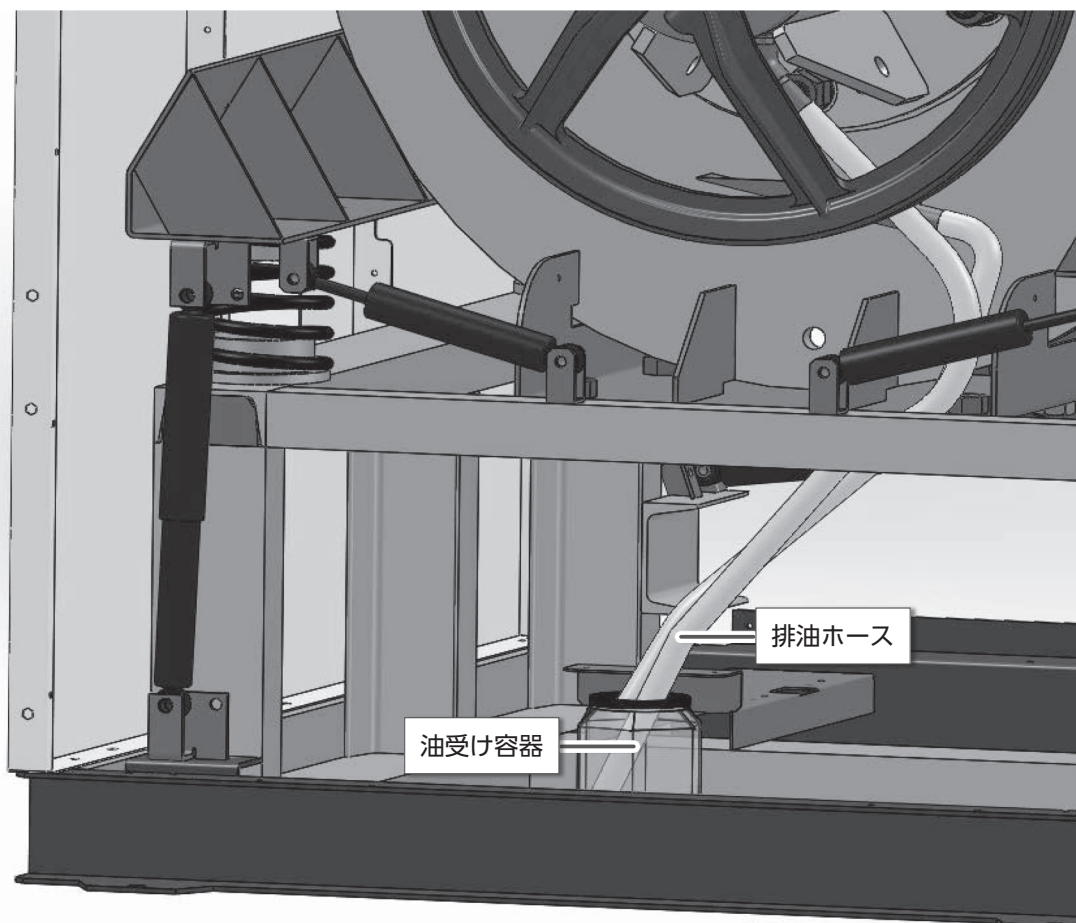
### 洗剤・柔軟剤 投入量(目安)

	投入量(cc)	
	1.0秒	5.0秒
水(参考)	14.4	72
どるふいんW (TOSEI純正 洗剤)	11.1	55.5
どるふいんS (TOSEI純正 柔軟剤)	11.1	55.5

- ・洗剤、柔軟剤は弊社の「純正品」のご使用をお奨め致します。
- ・弊社の純正品および推奨品以外の使用は本機のトラブルの原因になります。
- ・据付時またはソープポンプを交換したときは、ホース内のエア抜きを行ってください。

## 2.8 排油ホースについて

排油ホースから出た油を受けるため油受け容器を設置してください。



## 3 お使いになる前に



**警告**

◆操作開始の前に確認してください。  
「火災、漏電、けがの危険性があります」



**確認**

- (1)電気工事はよいか
- ①線の太さを確認する。
  - ②本機は、インバータを使用していますので、電源に使用する漏電遮断器はインバータ専用のもので工事を施工してください。(感度電流100mA)
  - ③力率改善用コンデンサは、絶対に取り付けしないでください。  
(コンデンサを取り付けると、インバータを破壊します)
- (2)アースはよいか  
接地工事はしてあるか、D種接地工事確認。
- (3)電源の供給はよいか  
電源の元スイッチを入れ表示ランプ点灯確認。
- (4)水(温水)の供給はよいか  
給水の元バルブを開いてください。
- (5)排水口の取り付けはよいか
- (6)洗剤・柔軟剤などの準備はよいか  
洗剤・柔軟剤などの缶にソープ投入ホースを差し込んでください。

## 4 取扱上の注意



**警告**

◆操作開始の前に確認してください。  
「火災、漏電、けがの危険性があります」



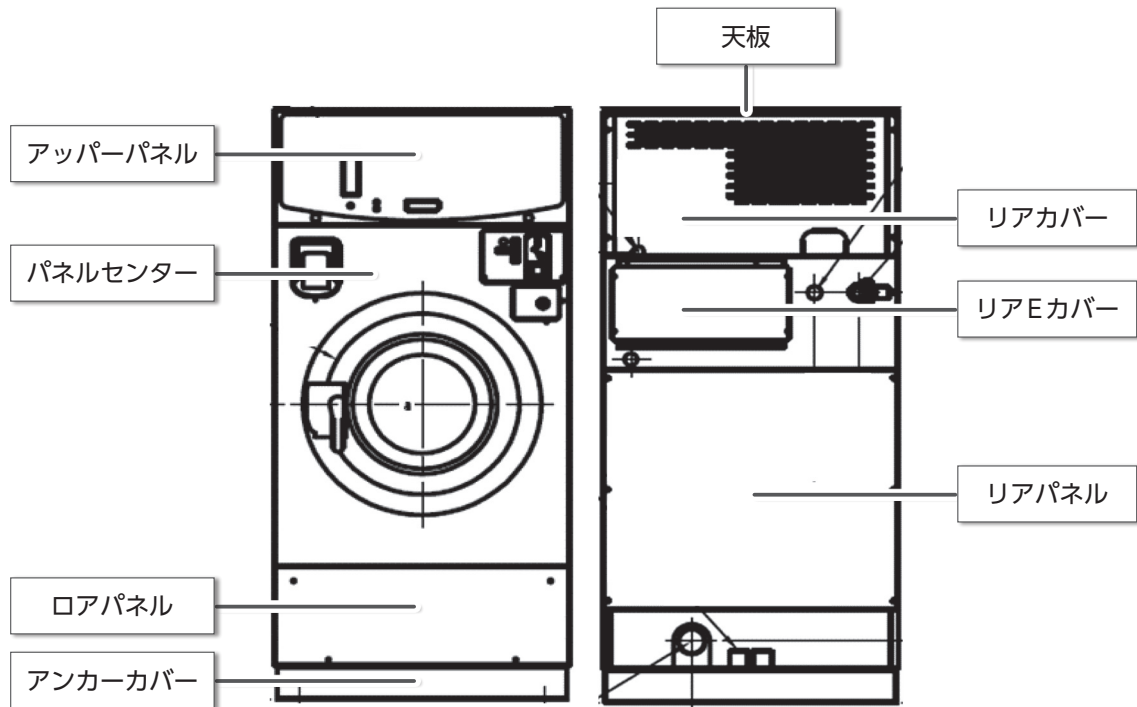
**確認**

- (1)本機の近くで、絶対に火気を使用しないでください。
- (2)衣類は、定格負荷量以上入れないでください。
- (3)ポリプロピレン系の繊維および油汚れ(特に動植物油)のついている衣類は自然発火することがありますので、洗濯しないでください。
- (4)大物衣類は「ネットの使用またはひもで縛っての」1枚洗濯をしないでください。  
(※大物衣類…カーペット、毛布、布団、カーテン、マット、シートなど)
- (5)洗濯した衣類は、速やかにドラム内より取り出してください。
- (6)運転中は、ドアの開閉はしないでください。

# 5 機械の概要

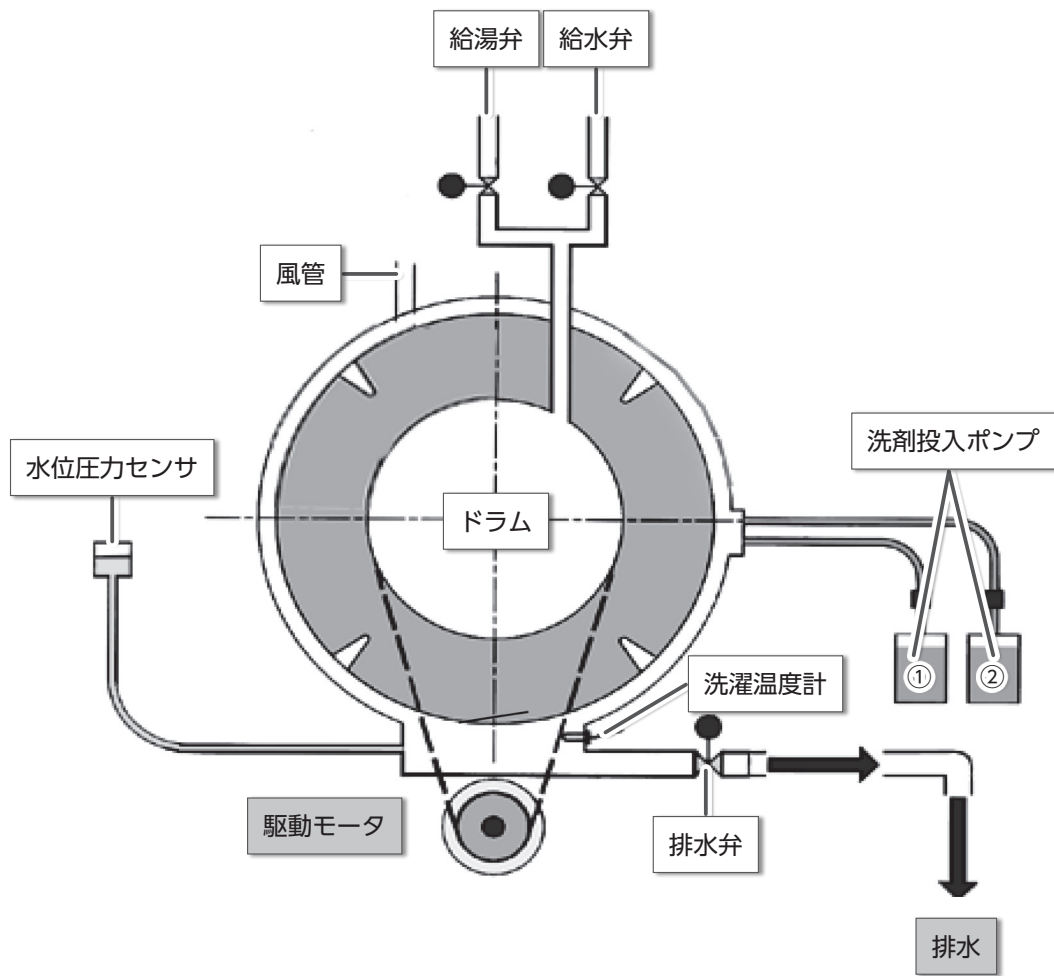
主な構成部と各々の役目と働きは次の通りです。

## ■ 各パネル



アッパーパネル	操作部/表示部がある機械正面上部のパネルです。
パネルセンター	機械正面中央のパネルです。
ロアパネル	機械正面下側のパネルです。
アンカーカバー	機械正面ロアパネルの下側のパネルです。
天板	機械上部のパネルです。
リアカバー	機械背面上部のパネルです。
リアEカバー	機械背面中央のパネルです。
リアパネル	機械背面のパネルです。

■ 給排水 系統



水位圧力センサ	ドラム内の水量を検出するセンサです。
洗濯温度計(オプション)	ドラム内の温度を検出するセンサです。
排水弁	自動的にドラムの水を排水、停止する弁です。
給水弁	自動的にドラムへ水を給水、停止する弁です。
給湯弁(オプション)	自動的にドラムへ温水を給湯、停止する弁です。
風管	ドラム内部エア抜き、給水のオーバーフローです。
洗剤投入ポンプ	ドラム内に①No.1洗剤、②No.2柔軟剤を投入するポンプです。

■ 動力 伝達部

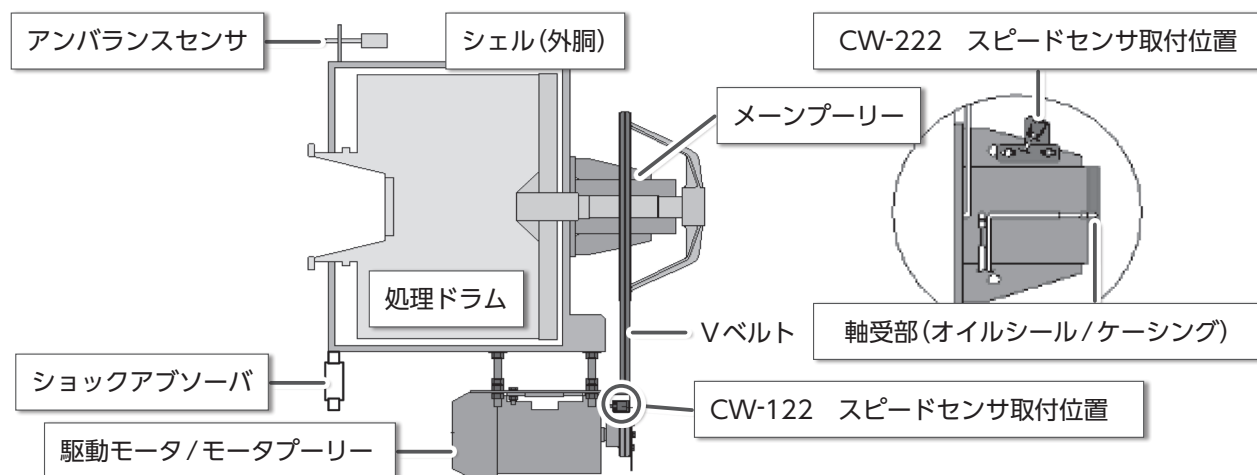


**警告**

◆回転部につき、巻き込まれの危険性があります。  
回転中は手を入れないこと。

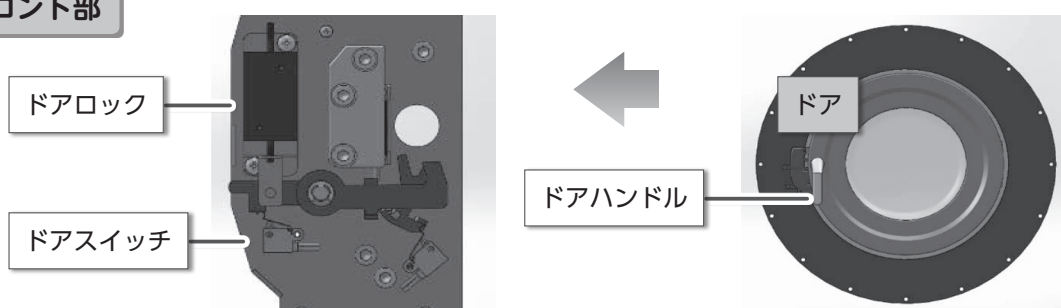


禁止



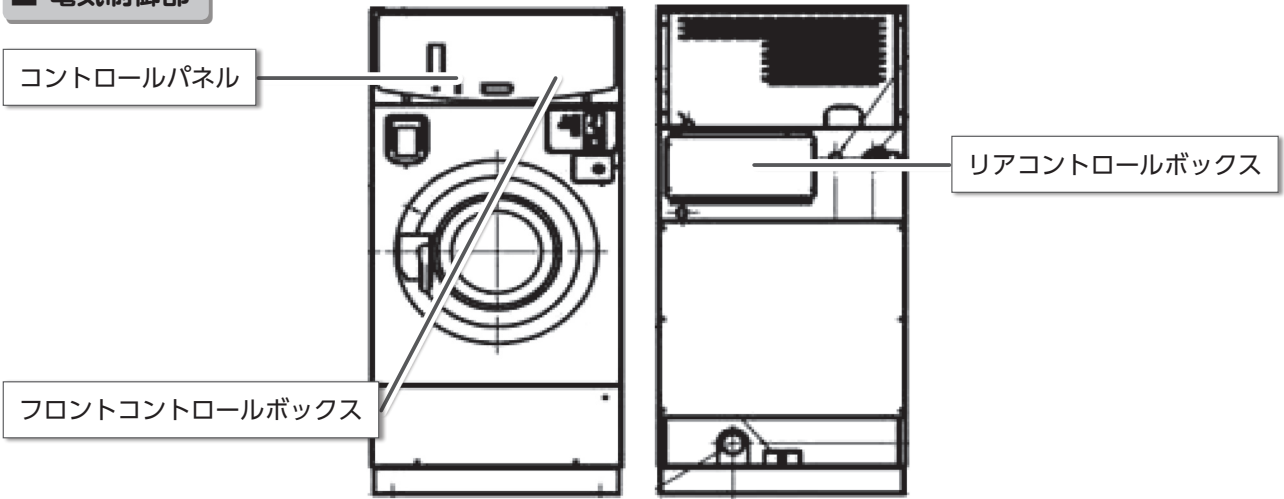
アンバランスセンサ	ドラム回転で異常を検知した場合、安全にドラムを止める装置です。
シェル(外胴)	ドラムの外胴です。
処理ドラム	洗濯する衣類を入れるステンレス製のドラムです。
ショックアブソーバ	シェルの振動振幅を抑制するアブソーバです。
メーンプーリー	Vベルトでドラムを回転させるプーリーです。
軸受部 (オイルシール/ケーシング)	ドラムシャフトを保護するオイルシール、ベアリングが収納されているケースです。
スピードセンサ	ドラムの回転数を検出する装置です。
駆動モータ	低速から高速回転をインバータ(周波数)にて行うモータです。

■ ドアフロント部



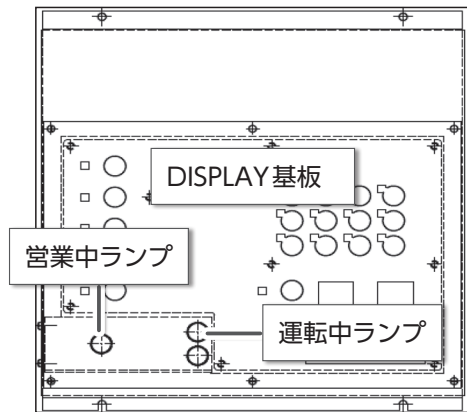
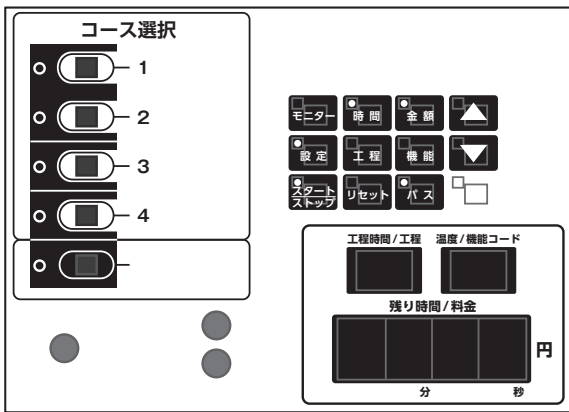
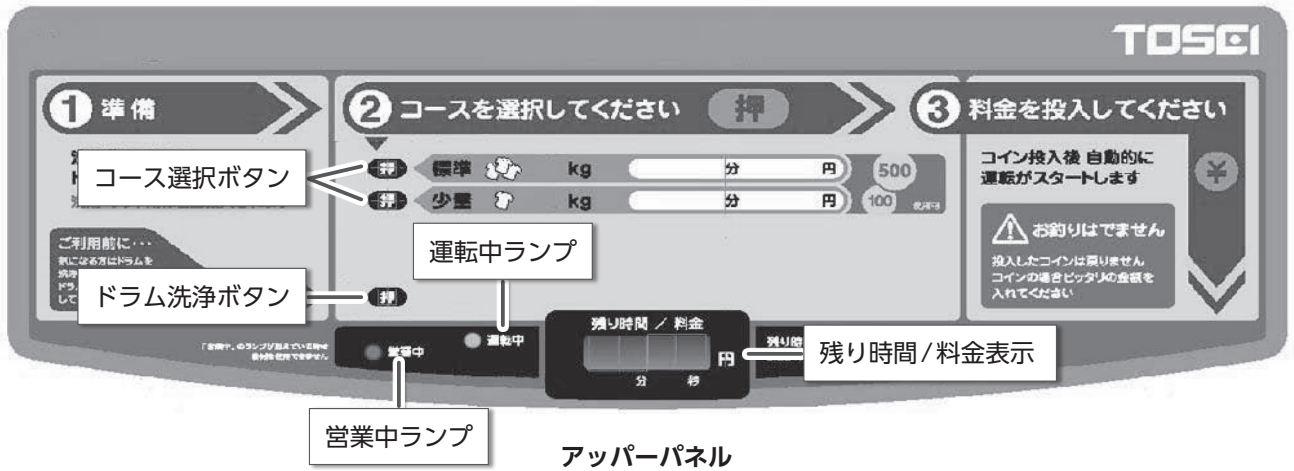
ドアハンドル	ドアを開閉するハンドルです。
ドアロック	ドアロックは機械運転中、またはドラム内に高水位まで水が入っている場合にドアロックします。
ドアスイッチ	ドアの開閉を確認するスイッチで、ドアを閉めると自動運転が可能になります。 ※ドアハンドルの動作が不完全な場合、ドアスイッチが作動せず機械が運転できない場合があります。

■ 電気制御部



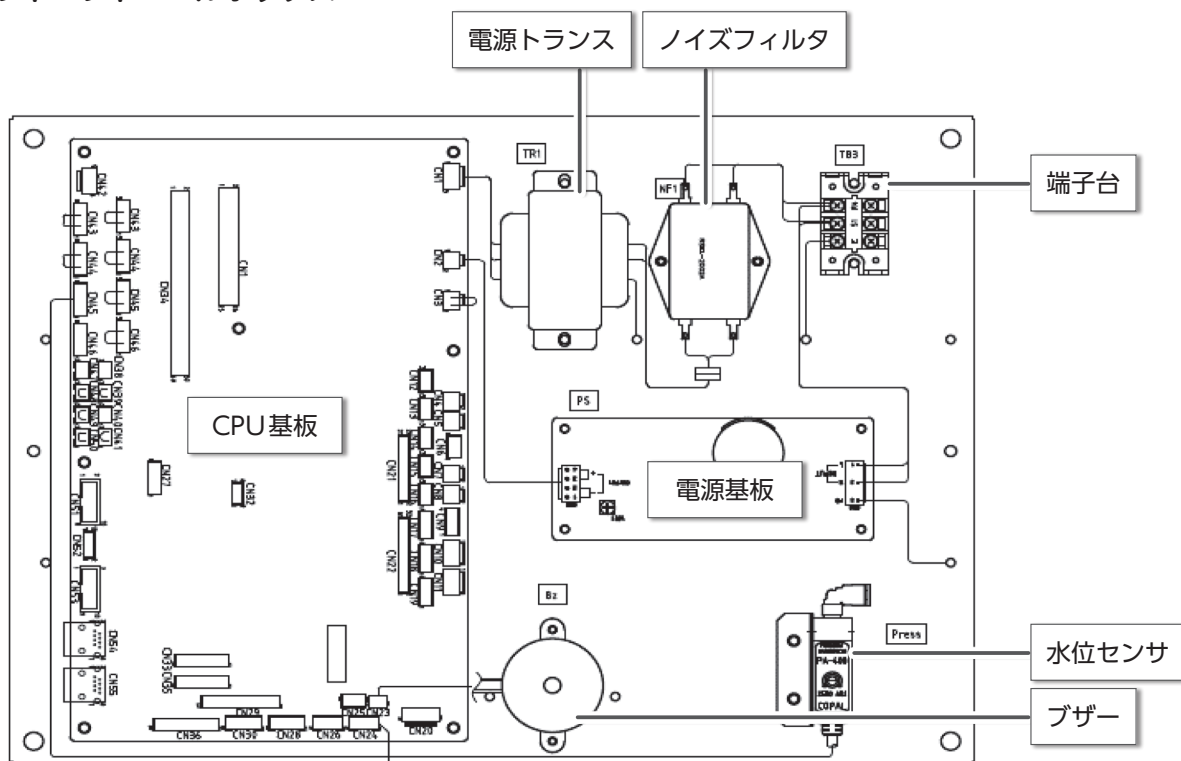
コントロールパネル	お客様が機械を操作するための操作部です。(操作パネル)
フロントコントロールボックス	オーナー様が機械を操作するための操作部です。 また、機械の動きを制御するための電装部品を収納してある箱です。 (CPUユニット・電源ユニット)
リアコントロールボックス	機械の動きを制御するための電装部品を収納してある箱です。 (リレーユニット・INVユニット)

● コントロールパネル



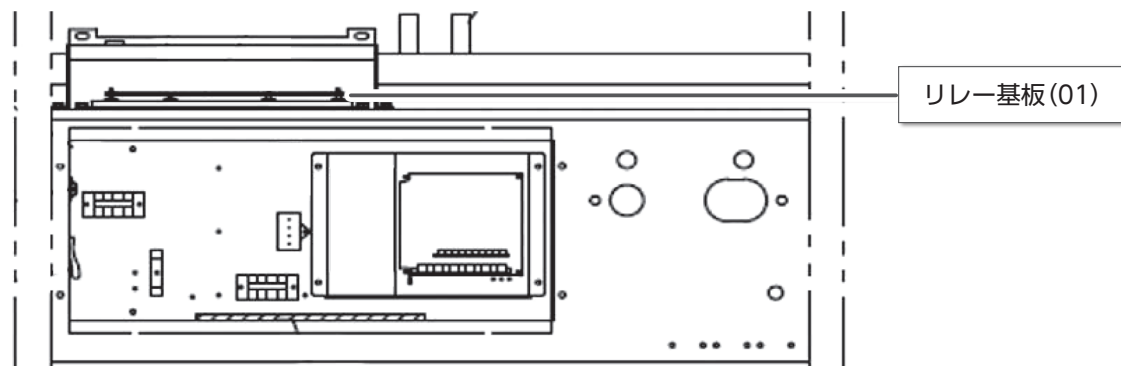


●フロントコントロールボックス

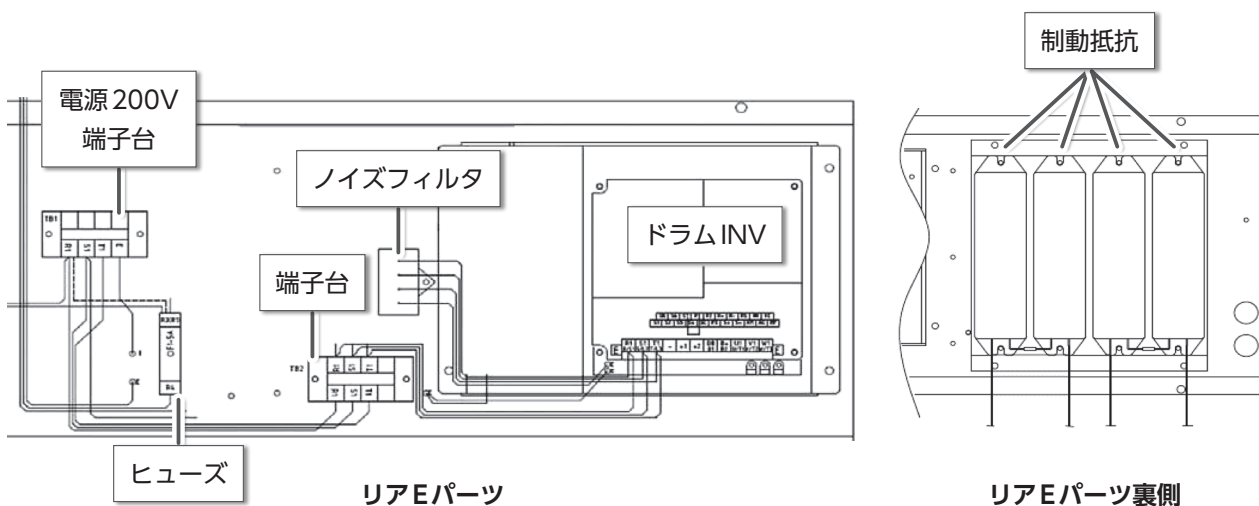


フロントEパーツ

●リアコントロールボックス



リレーユニット



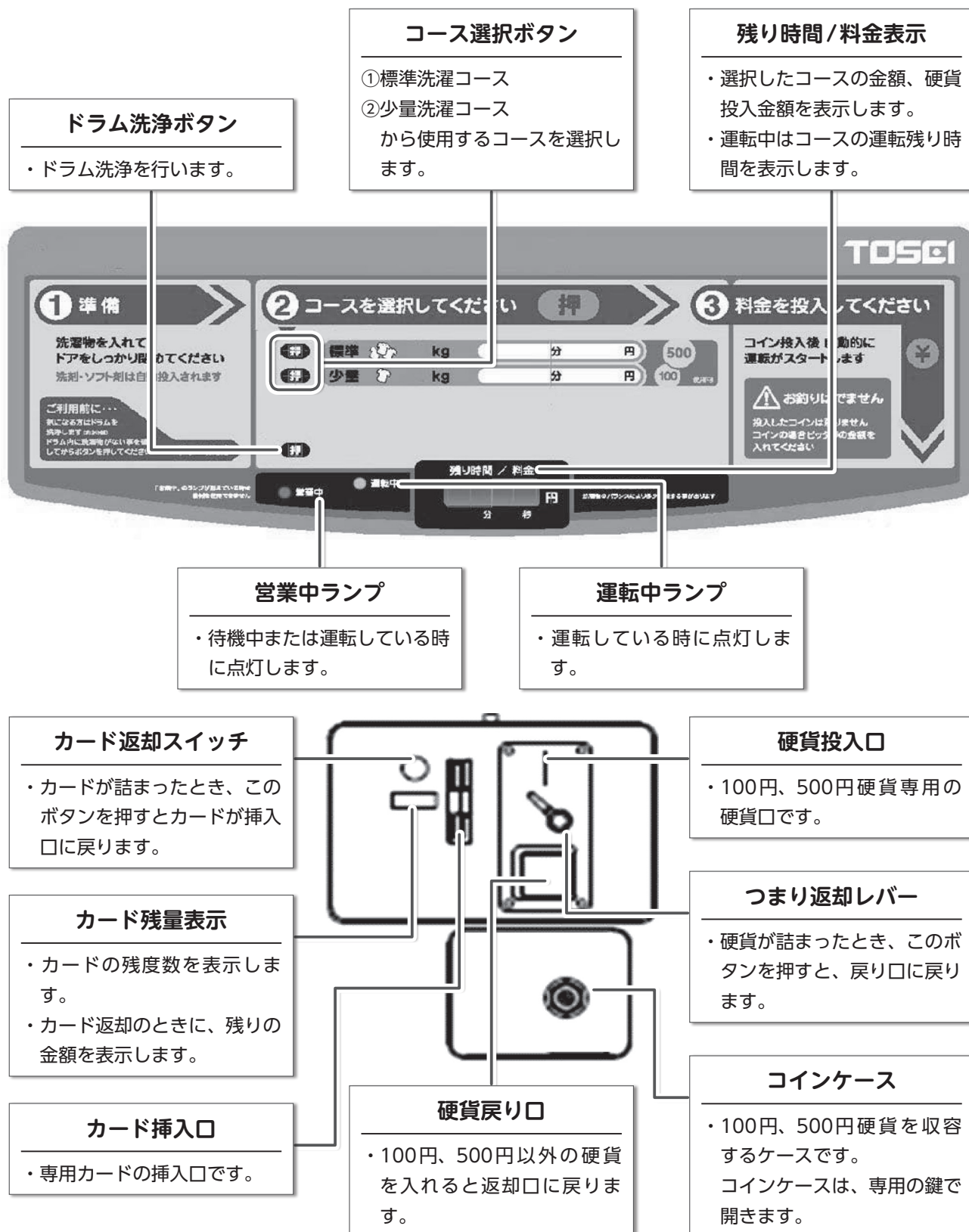
リアEパーツ

リアEパーツ裏側

# 6 運転操作方法

## 6.1 表示部・操作部について

### (1) 表示部・操作部の説明(例 CW-122)



①ドラム洗浄ボタン

ご利用前に…

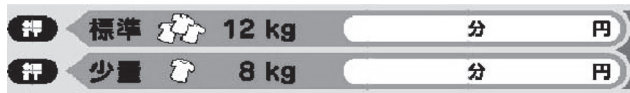
気になる方はドラムを洗浄します(約2分間)  
ドラム内に洗濯物がない事を確認してから  
ボタンを押してください

ドラム洗浄



- 洗濯の前にドラムを約2分間洗います。(2回使用できます)

②コースボタン

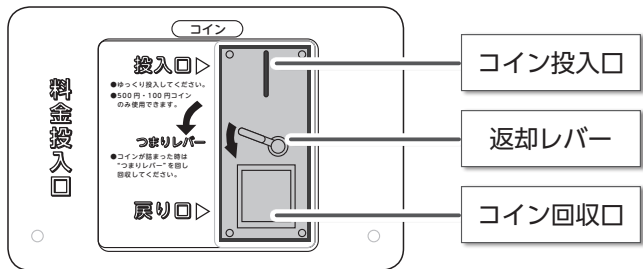


- 標準 洗濯コース、少量 洗濯コースの2つのコースから、使用するコースを選択します。

(例) CW-122の標準プログラム

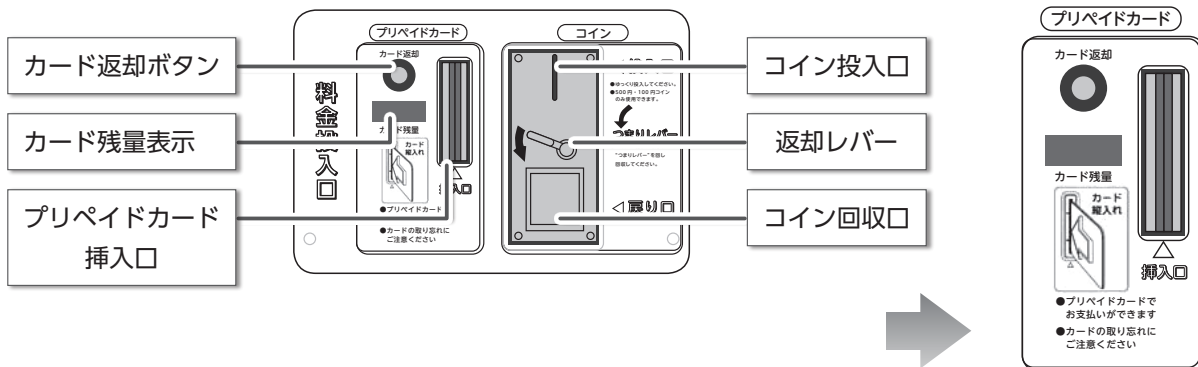
	予洗	本洗	すすぎ <sup>*</sup> 1	すすぎ <sup>*</sup> 2	すすぎ <sup>*</sup> 3	脱水	合計
標準 洗濯コース	—	●	●	●	—	●	700円
衣類 12kg	→	8分	3分	3分	→	10分	30分
少量 洗濯コース	—	●	●	●	—	●	500円
衣類 8kg	→	8分	3分	3分	→	10分	30分

③コインセレクトタ(標準仕様)



- 金銭の投入装置で、100円および500円が投入できます。
- ・コースを選択し、表示している金額分硬貨を投入すると自動的に運転を開始します。  
『使用できる硬貨は100円と500円です』
- ※つり銭は出ませんのでご注意ください。

④プリペイドカード仕様(オプション)



- 専用のプリペイドカード投入装置です。
- ・プリペイドカードを投入すると、自動的にカード残量よりコースの金額分差し引き、運転を開始します。
- ・カードの返却前にカード残量表示にカードの残額を表示します。
- ・コインセレクトタも並行してご使用できます。
- ※使用できるカードは専用のプリペイドカードです。

## (2) お客様の使用法

### 1 準備

先ず洗濯物を入れてドアをしっかり閉めてください

- ここで洗剤等を入れないでください  
洗剤・ソフト剤は自動投入されます



※ドラム洗浄を行う場合

- ・ドラム洗浄ボタンを押すと、洗濯の前に約2分間のドラム洗いをを行います。  
(ドラム洗浄ボタンが点灯)
- ・ドアを開けてください。洗濯物を入れてドアを閉めてください。
- ・ドラム内に洗濯物がない事を確認してからボタンを押してください。

### 2 コース選択



- ・コースボタンを押すと、投入金額を表示します。
- ・選択したコースランプが点灯し、コインを投入できます。
- ・硬貨を投入するまではコースを変更できます。

### 3 料金投入

料金投入口にてお支払い願います

#### ！ご注意

- 投入したコインは戻りません  
コインの場合、ピッタリの金額を入れてください
- お釣りは出ません
- 料金投入後のコース変更は出来ません  
投入後、自動的に運転がスタートとなります

- ・500円と100円硬貨を使用できます。それ以外の硬貨は返却されます。
- ・投入した金額が加算され表示します。
- ・指定金額まで投入しますと自動的に運転を始めます。

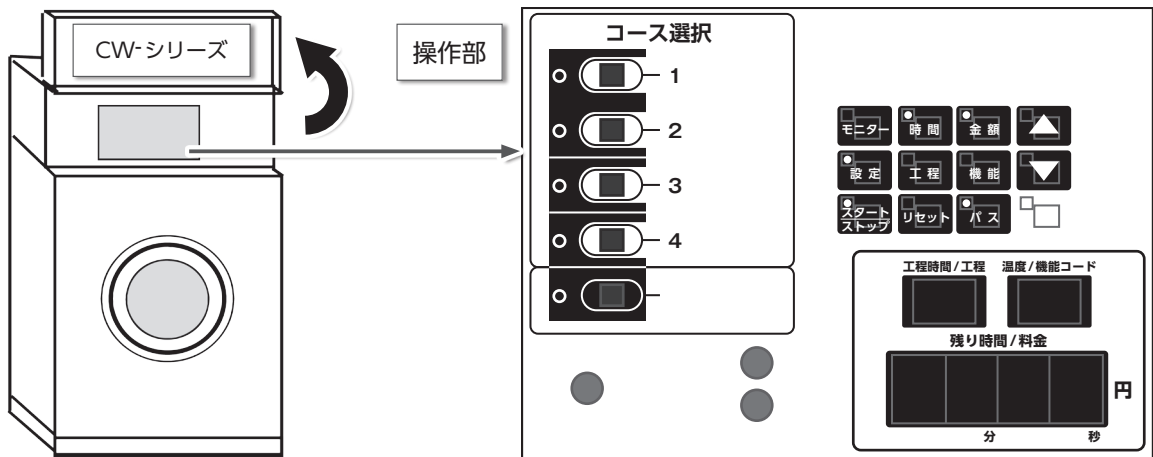
### 4 終了

運転終了後、洗濯物を取り出してください

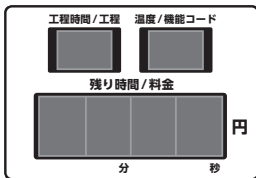


- ・表示時間が「0」になりましたら「ブザー」で終了をお知らせます。
- ・ドアを開いて洗濯物を取り出してください。

## 6.2 オーナー様の操作設定方法

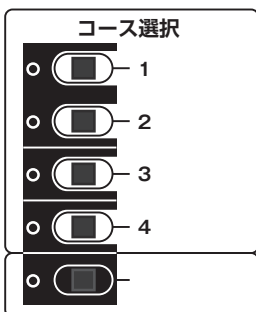


### ①表示ランプ



- ・工程時間/工程表示は、待機中、運転中には工程時間を表示します。設定モード中は、工程ボタンを押すごとに工程(L1～SP)を表示します。
- ・温度/機能コード表示は、待機中、運転中には洗濯温度を表示します。設定モード中は、機能ボタンを押すごとに機能(F1～Cd)を表示します。
- ・残り時間/料金表示は、待機中には「0」を表示し、コースを選択すると、選択したコースの金額を表示します。運転中は残り時間を表示します。機械停止中にドアを開けると「door」を表示します。運転終了時は「0」を表示します。設定モード中は、設定をする金額、時間、機能の設定値を表示します。エラー発生時は、エラーコードを表示します。

### ②コース選択ボタン



- ・オーナー操作時のコース選択ボタンです。待機中に、設定変更または運転する1コースまたは2コースを選択してください。  
1コース 標準洗濯コース 2コース 少量洗濯コース

### ③ドラム洗浄ボタン



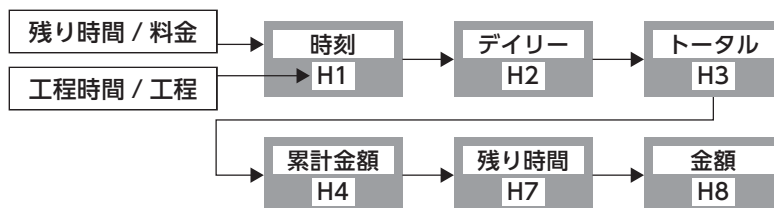
- ・ドラム洗浄を行うボタンです。ドラム洗浄ボタンを押すと、約2分間のドラム洗浄を2回まで行うことができます。

## ④モニターボタン

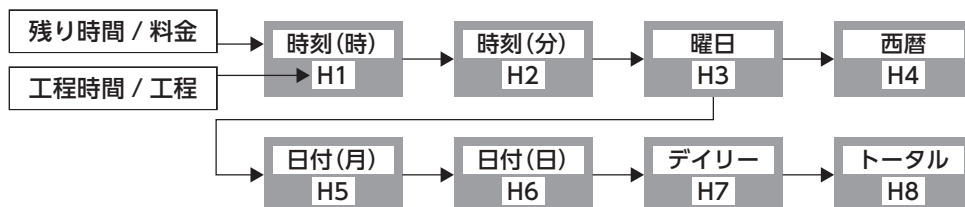


- ・オーナー操作時のモニターボタンです。
- ・待機中、運転中、一時停止中にモニターボタンを押すと、押すごとに時刻→デイリー回数→トータル回数→累計金額→残り時間→コース金額を表示します。
- ・通常と設定モード中では、表示内容が異なります。  
設定モード中にモニターボタンを押すと、押すごとに時刻(時)→時刻(分)→曜日→西暦→日付(月)→日付(日)→デイリー回数→トータル回数を表示し、設定を変更できます。

## [通常]



## [設定モード]



## ⑤時間ボタン



- ・オーナー操作時の時間ボタンです。  
時間ボタンを一回押すと(分)表示、もう一度押すと(秒)表示をします。
- ・待機中、一時停止中に時間ボタンを押すと、選択している工程の時間を表示します。
- ・設定中に時間ボタンを押すと、選択している工程の工程時間を変更できます。  
時間の増減は▲(増)▼(減)で行います。

## ⑥金額ボタン



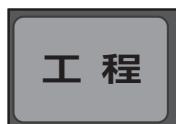
- ・オーナー操作時の金額ボタンです。
- ・設定モード中にこのボタンを押すと、選択したコースのコース金額を変更できます。
- ・金額の増減は▲(増)▼(減)で行います。

## ⑦設定ボタン



- ・オーナー操作時の設定ボタンです。
- ・待機中に設定ボタンを3秒以上長押しすることで、設定モードに入ることができます。  
設定モードは、現在の日時、コース金額、工程時間、機能の値などを変更できます。  
設定モード中にこのボタンを押すと、変更した値を保存し、設定モードから待機中に戻ります。

## ⑧工程ボタン



- ・オーナー操作時の工程ボタンです。
- ・待機中は、押すごとに工程が切り替わり、有効な工程を確認できます。
- ・運転中、一時停止中にこのボタンを押すと、現在行われている工程を確認できます。
- ・設定モード中は、工程ボタンを押すごとに、予洗(L1)～脱水(SP)に工程が切り替わります。

※パスされている工程は、パスボタンの赤ランプが点灯します。

## ⑨機能ボタン



- ・オーナー操作時の機能ボタンです。
- ・設定モード中に機能ボタンを押すごとにモード(F1)～中間脱水時間(Cd)に機能が切り替わり、設定値を変更できます。  
設定値の増減は▲(増)▼(減)で行います。

## ⑩スタート/ストップボタン



- ・オーナー操作時のスタート/ストップのボタンです。  
待機中にスタート/ストップボタンを押すと、選択しているコースの運転を開始します。
- ・運転中にスタート/ストップボタンを押すと運転を一時停止します。
- ・一時停止中にスタート/ストップボタンを押すと運転を再開します。

## ⑪リセットボタン



- ・オーナー操作時のリセットボタンです。
- ・一時停止中にリセットボタンを押すと、待機中に戻ります。
- ・時刻などの表示中にリセットボタンを押すと、待機中に戻ります。

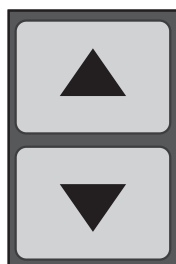
## ⑫パスボタン



- ・オーナー操作時のパスボタンです。
- ・待機中は、押すごとに工程が切り替わり、有効な工程を確認できます。
- ・運転中、または一時停止中にパスボタンを押すと、現在行っている工程を省略し、パスされた次の工程を開始します。
- ・設定モード中にパスボタンを押すと、工程のパスする/しないの切り替えを行います。

※パスされている工程は、パスボタンの赤ランプが点灯します。

## ⑬変更ボタン



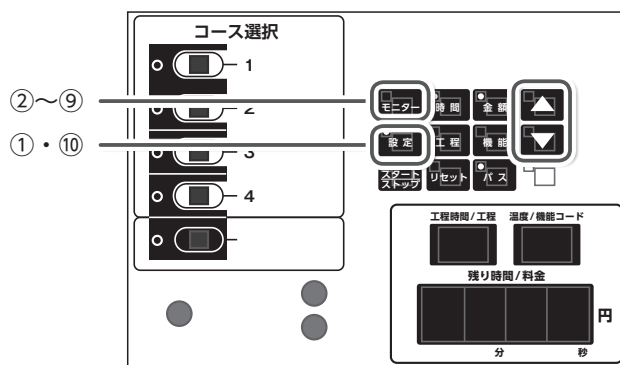
- ・オーナー操作時の変更ボタンです。
- ・設定モード中にこのボタンを押すと、時刻、各コースの金額、工程時間、機能の設定値などを変更できます。
- ・設定値の増減は▲(増)▼(減)で行います。

## 6.3 日時の設定方法

通常モード中に、『設定』ボタンを3秒以上長押しすることで設定モードに入ります。

設定モード中に、『モニター』ボタンを押すことで、時刻、曜日、西暦、日付などの変更ができます。

アッパーパネルを開き、操作部で変更します。



①『設定』ボタンを3秒以上長押しします。



②『モニター』ボタンを1回押します。



残り時間/料金に、時間を表示し、時刻(時)表示が点滅します。

『▲』ボタン、『▼』ボタンで時刻(時)を変更  
(0時～23時:24時間制)

③『モニター』ボタンを1回押します。



残り時間/料金に、時刻を表示し、時刻(分)表示が点滅します。

『▲』ボタン、『▼』ボタンで時刻(分)を変更  
(0分～59分)

④『モニター』ボタンを1回押します。



残り時間/料金に、曜日を表示します。

『▲』ボタン、『▼』ボタンで曜日を変更  
(dAy0：日曜日～dAy6：土曜日)

day	0	1	2	3	4	5	6
曜日	日	月	火	水	木	金	土

⑤『モニター』ボタンを1回押します。

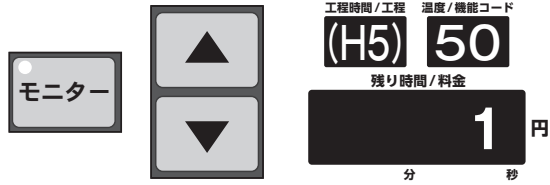


残り時間/料金に、西暦を表示します。

『▲』ボタン、『▼』ボタンで西暦を変更  
(2000年～2099年)



⑥『モニター』ボタンを1回押します。

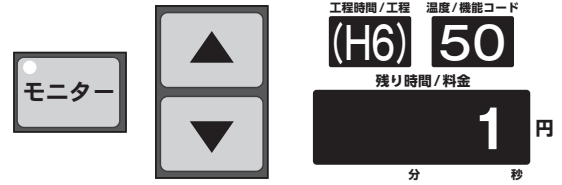


残り時間/料金に、日付(月)を表示します。

『▲』ボタン、『▼』ボタンで月を変更

(1月～12月)

⑦『モニター』ボタンを1回押します。

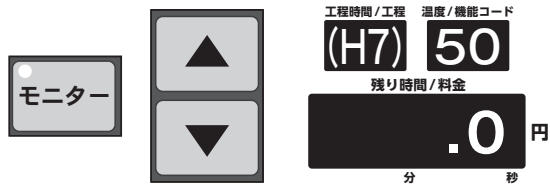


残り時間/料金に、日付(日)を表示します。

『▲』ボタン、『▼』ボタンで日を変更

(1日～31日)

⑧『モニター』ボタンを1回押します。



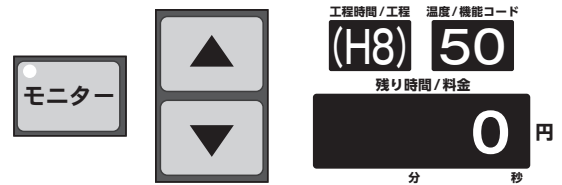
残り時間/料金に、デイリー回数を表示します。

※パスボタンを押すとデイリー回数をクリアできます。

『▲』ボタン、『▼』ボタンでデイリー回数を変更

(0回～99回)

⑨『モニター』ボタンを1回押します。



残り時間/料金に、トータル回数を表示します。

※パスボタンを押すとトータル回数をクリアできます。

『▲』ボタン、『▼』ボタンでトータル回数を変更

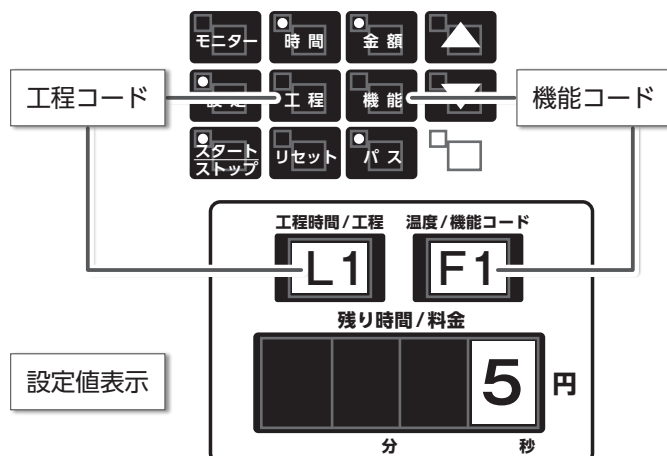
(0回～9999回)

⑩設定変更後、『設定』ボタンを押し、設定を終了します。



## 6.4 機能の設定方法

- ①工程コードの設定は『設定』ボタンを3秒間長押しした後、『工程』ボタンを押してください。工程時間/工程表示に工程コードが表示されます。
- ②機能コードの設定は『設定』ボタンを3秒間長押しした後、『機能』ボタンを押してください。温度/機能表示に機能コードが表示されます。



### 設定

コースを選んだ後、『設定』ボタンを3秒間長押しし、設定モードに入ってください。修正を終了後、『設定』ボタンを押して、設定モードを終了してください。

### 機能コード

#### 工程コード

	ドラム回転 F1	水位 F2	洗回転 F3	脱回転 F4	温水 F5	温度 F6	排水 F7	ソープ1 c1	ソープ2 c2	ソープ3 c3	ソフト剤 So	中脱時間 Cd
予洗 L1	普 5	3 3	3 3	なし 0	水 0	50℃ 50	回転 0	無し 0	無し 0	無し 0	無し 0	60秒 60
本洗 L2	普 5	3 3	3 3	遅 1	水 0	50℃ 50	回転 0	7.0秒 7.0	無し 0	無し 0	無し 0	120秒 120
濯ぎ1 L3	普 5	3 3	3 3	遅 1	水 0	50℃ 50	回転 0	無し 0	無し 0	無し 0	無し 0	60秒 60
濯ぎ2 L4	普 5	3 3	3 3	遅 1	水 0	50℃ 50	回転 0	無し 0	無し 0	無し 0	7.0秒 7.0	60秒 60
濯ぎ3 L5	普 5	2 2	2 2	遅 1	水 0	50℃ 50	回転 0	無し 0	無し 0	無し 0	無し 0	60秒 60
脱水 SP	---	---	---	4 4	---	---	---	---	---	---	---	---
設定 範囲	5 普通 4 一方 3 ソフト 2 正逆 1 停止	5 高 4 3 中 2 1 低	5 普通 4 3 2 1 低	5 速 4 3 2 1 遅 0=無し	1 温水 0 水	水温 1~ 90℃	1 停止 0 回転	0~ 59.5 秒	0~ 59.5 秒	0~ 59.5 秒	0~ 59.5 秒	1~ 599 秒

※上記表は、CW-122 1コースの標準プログラムです。

※設定値の詳細については次ページを参照してください。

パス

●点灯=パスにする  
○消灯=パスしない

時間

工程時間変更  
01:00~20:00

金額

コース金額変更  
100円~9900円

## ■ 設定値 詳細

機能コード	項目	設定値	設定内容
---	時刻(時)	---	0時～23時
---	時刻(分)	---	0分～59分
---	曜日	dAy0	日曜日
		dAy1	月曜日
		dAy2	火曜日
		dAy3	水曜日
		dAy4	木曜日
		dAy5	金曜日
		dAy6	土曜日
---	西暦	---	2000年～2099年
---	日付(月)		1月～12月
---	日付(日)		1日～31日
---	デイリー回数	---	0回～99回
---	トータル回数	---	0回～9999回
---	設定金額 Pr	---	100円～9900円
---	工程時間	---	01分00秒～20分00秒
F1	ドラム回転	1	停止洗い
		2	正逆回転
		3	ソフト洗い
		4	一方回転
		5	普通洗い
F5	温水	0	水のみ
		1	水+温水
F6	温度	---	1℃～90℃(洗濯温度)
F7	排水	0	回転排水
		1	停止排水
C1	ソープ1 (No.1ポンプ)	---	0.0秒～59.5秒
C2	ソープ2	---	0.0秒～59.5秒
C3	ソープ3	---	0.0秒～59.5秒
So	ソフト剤 (No.2ポンプ)	---	0.0秒～59.5秒
cd	中脱時間	---	1秒～599秒

■ 機種ごとに設定内容が異なる機能

機能コード	項目	設定値	CW-122	CW-222
F2	水位 (水量)	1	80mm (約 19 ℓ)	100mm (約 33 ℓ)
		2	115mm (約 29 ℓ)	135mm (約 46 ℓ)
		3	150mm (約 39 ℓ)	170mm (約 62 ℓ)
		4	185mm (約 51 ℓ)	205mm (約 78 ℓ)
		5	220mm (約 63 ℓ)	240mm (約 94 ℓ)
F3	洗濯回転	1	44rpm	37rpm
		2	46rpm	39rpm
		3	48rpm	41rpm
		4	50rpm	43rpm
		5	52rpm	45rpm
F4	脱水回転	0	脱水なし	
		1	600rpm	550rpm
		2	700rpm	650rpm
		3	750rpm	680rpm
		4	780rpm	730rpm
		5	800rpm	770rpm

## 6.5 プログラム設定方法

### ■ 1コースに予洗工程の追加

変更工程	工程表	変更
予洗工程の追加	L1	1コースに予洗工程の追加

工程表

表示	内容
L1	予洗
L2	本洗
L3~L5	すすぎ
SP	脱水

工程と工程時間です

料金と残り時間です

機能コード表

表示	内容
F1	ドラム回転
F2	水位
F3	洗い回転
F4	脱水回転
F5	温水
F6	温度
F7	排水
C1~C3	ソープ
So	ソフト剤
Cd	中脱時間

赤ランプ(LED)表示

状態	表示
点灯	●
点滅	☀
消灯	○

操作方法		ボタン操作	表示内容
①	コース選択ボタンの『1』を押します	赤ランプが点灯します	1コースの金額を表示します
②	『設定』ボタンを3秒間長押しします	赤ランプが点滅します	全工程の時間を表示します
③	『工程』ボタンを押し、工程を[L1]にします ※『工程』ボタンを押すごとに工程が[L1]~[SP]と切り替わります		変更する工程を選びます
④	『時間』ボタンを押します 分表示が点滅します (デフォルトは2分30秒です) 『▲』ボタン、『▼』ボタンで数値変更	赤ランプが点滅します	数字が点滅します
⑤	『時間』ボタンを押します 秒表示が点滅します (デフォルトは2分30秒です) 『▲』ボタン、『▼』ボタンで数値変更	赤ランプが点滅します	(秒)数字の左上に点が出ます
⑥	『パス』ボタンの赤ランプが点灯しているとプログラムした工程を省略します	赤ランプが点灯します	
⑦	工程を追加するときは、『パス』ボタンを押し、赤ランプを消灯させてください	赤ランプが消灯します	
⑧	『設定』ボタンを押します 設定終了です	赤ランプが消灯します	設定終了です

※時間(秒)の変更で『▲』ボタン、『▼』ボタンで数値変更の際、『▲』ボタンを押し続けて59を上回ると、時間(分)の単位がくり上がります。

また、『▼』ボタンを押し続けて0を下回ると、時間(分)の単位がくり下がります。

## ■ 本洗時間の変更

変更工程	工程表	変更
本洗時間の変更	L2	本洗時間 8分00秒→7分30秒に変更

工程表

表示	内容
L1	予洗
<b>L2</b>	<b>本洗</b>
L3~L5	すすぎ
SP	脱水

工程と工程時間です

料金と残り時間です

機能コード表

表示	内容
F1	ドラム回転
F2	水位
F3	洗い回転
F4	脱水回転
F5	温水
F6	温度
F7	排水
C1~C3	ソープ
So	ソフト剤
Cd	中脱時間

赤ランプ(LED)表示

状態	表示
点灯	●
点滅	☀
消灯	○

操作方法		ボタン操作	表示内容
①	コース選択ボタンの『1』を押します	赤ランプが点灯します	1コースの金額を表示します
		1	
②	『設定』ボタンを3秒間長押しします	赤ランプが点滅します	全工程の時間を表示します
		設定	
③	『工程』ボタンを押し、工程を【L2】にします ※『工程』ボタンを押すごとに工程が【L1】～【SP】と切り替わります		変更する工程を選びます
④	(分)の変更をします 『時間』ボタンを押します (分)表示が点滅します 『▲』ボタン、『▼』ボタンで数値変更	赤ランプが点滅します	(分)表示が点滅します
⑤	(秒)の変更をします 『時間』ボタンを押します (秒)表示が点滅します 『▲』ボタン、『▼』ボタンで数値変更	赤ランプが点滅します	(秒)数字の左上に点が出ます
⑥	『設定』ボタンを押します 設定終了です	赤ランプが消灯します	設定終了です
		設定	

※時間(秒)の変更で『▲』ボタン、『▼』ボタンで数値変更の際、『▲』ボタンを押し続けて59を上回ると、時間(分)の単位がくり上がります。

また、『▼』ボタンを押し続けて0を下回ると、時間(分)の単位がくり下がります。

## ■ 水位の変更

変更工程	工程表	機能コード表	変更
水位の変更	L3	F2	水位 3 → 2に変更

工程表

表示	内容
L1	予洗
L2	本洗
L3~L5	すすぎ
SP	脱水

工程と工程時間です

料金と残り時間です

温度と機能コードです

機能コード表

表示	内容
F1	ドラム回転
<b>F2</b>	<b>水位</b>
F3	洗い回転
F4	脱水回転
F5	温水
F6	温度
F7	排水
C1~C3	ソープ
So	ソフト剤
Cd	中脱時間

赤ランプ(LED)表示

状態	表示
点灯	●
点滅	☀
消灯	○

操作方法		ボタン操作	表示内容
①	コース選択ボタンの『1』を押します	赤ランプが点灯します	1 コースの金額を表示します
		1	
②	『設定』ボタンを3秒間長押しします	赤ランプが点滅します	全工程の時間を表示します
③	『工程』ボタンを押し、工程を【L3】にします ※『工程』ボタンを押すごとに工程が【L1】～【SP】と切り替わります		変更する工程を選びます
④	『機能』ボタンを押し、機能を【F2】にします ※『機能』ボタンを押すごとに機能が【F1】～【Cd】と切り替わります		変更する機能を選びます
⑤	(水位)の変更をします 『▲』ボタン、『▼』ボタンで数値変更		数値を変更します
⑥	『設定』ボタンを押します 設定終了です	赤ランプが消灯します	設定終了です

## ■ ソフト剤(No.2ポンプ)投入時間の変更

変更工程	工程表	機能コード表	変更
ソフト剤(No.2ポンプ)投入時間の変更	L4	So	ソフト剤 7.0秒→5.5秒に変更

工程表

表示	内容
L1	予洗
L2	本洗
L3~L5	すすぎ
SP	脱水

工程と工程時間です














料金と残り時間です

機能コード表

表示	内容
F1	ドラム回転
F2	水位
F3	洗い回転
F4	脱水回転
F5	温水
F6	温度
F7	排水
C1~C3	ソープ
So	ソフト剤
Cd	中脱時間

赤ランプ(LED)表示

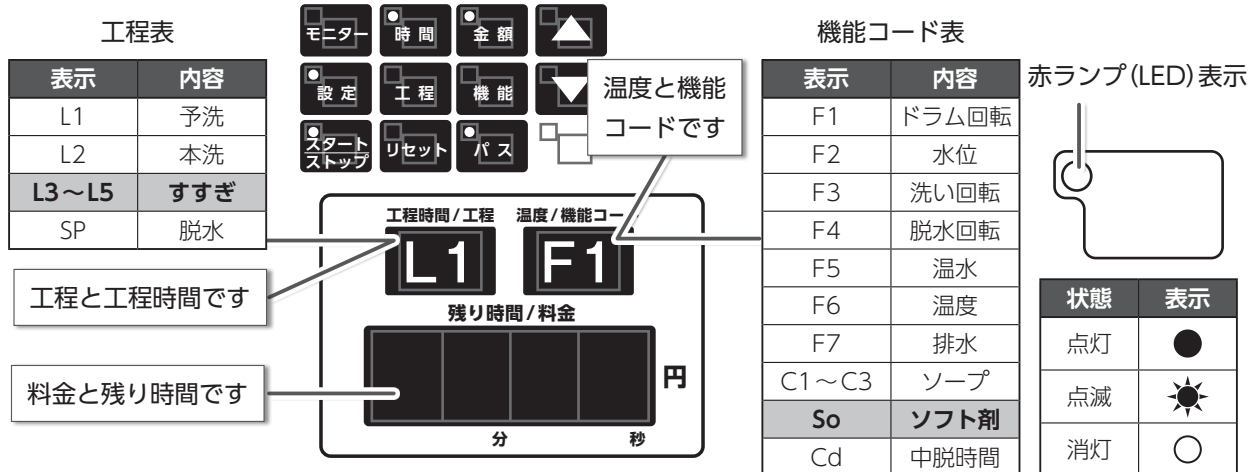
状態	表示
点灯	●
点滅	☀
消灯	○

操作方法		ボタン操作	表示内容
①	コース選択ボタンの『1』を押します	赤ランプが点灯します	1コースの金額を表示します
			
②	『設定』ボタンを3秒間長押しします	赤ランプが点滅します	全工程の時間を表示します
			
③	『工程』ボタンを押し、工程を【L4】にします ※『工程』ボタンを押すごとに工程が【L1】～【SP】と切り替わります		変更する工程を選びます
			
④	『機能』ボタンを押し、機能を【So】にします ※『機能』ボタンを押すごとに機能が【F1】～【Cd】と切り替わります		変更する機能を選びます
			
⑤	(ソフト剤投入時間)の変更をします 『▲』ボタン、『▼』ボタンで数値変更		数値を変更します
			
⑥	『設定』ボタンを押します 設定終了です	赤ランプが消灯します	設定終了です
			



■ ワンショットプログラムの追加 (No.1 ポンプのみ使用)

変更工程	工程表	機能コード表	変更
ワンショットプログラムの追加	L4	So	1 コースNo.1 ポンプのみ使用



操作方法		ボタン操作	表示内容
①	コース選択ボタンの『1』を押します	赤ランプが点灯します	1 コースの金額を表示します
		1	
②	『設定』ボタンを 3 秒間長押しします	赤ランプが点滅します	全工程の時間を表示します
		設定	
③	『工程』ボタンを押し、工程を【L4】にします ※『工程』ボタンを押すごとに工程が【L1】～【SP】と切り替わります		変更する工程を選びます
④	『パス』ボタンを 10 秒間長押しします ※工程【L4】がパスされ、ワンショットプログラムを追加します		工程【L4】をパスします
⑤	『パス』ボタンの赤ランプが点灯しているとプログラムした工程を省略します	赤ランプが点灯します	
		パス	
⑥	『設定』ボタンを押します 設定終了です	赤ランプが消灯します	設定終了です
		設定	

## ■ 1コースにすぎ3工程の追加

変更工程	工程表	機能コード表	変更
すぎ3工程の追加	L5	---	1コースにすぎ3工程の追加

工程表

表示	内容
L1	予洗
L2	本洗
L3~L5	すぎ
SP	脱水

工程と工程時間です

料金と残り時間です

機能コード表

表示	内容
F1	ドラム回転
F2	水位
F3	洗い回転
F4	脱水回転
F5	温水
F6	温度
F7	排水
C1~C3	ソープ
So	ソフト剤
Cd	中脱時間

赤ランプ(LED)表示

状態	表示
点灯	●
点滅	☀
消灯	○

操作方法		ボタン操作	表示内容
①	コース選択ボタンの『1』を押します	赤ランプが点灯します	1コースの金額を表示します
②	『設定』ボタンを3秒間長押しします	赤ランプが点滅します	全工程の時間を表示します
③	『工程』ボタンを押し、工程を【L5】にします ※『工程』ボタンを押すごとに工程が【L1】～【SP】と切り替わります		変更する工程を選びます
④	『時間』ボタンを押します 分表示が点滅します (デフォルトは3分00秒です) 『▲』ボタン、『▼』ボタンで数値変更	赤ランプが点滅します	数字が点滅します
⑤	『時間』ボタンを押します 秒表示が点滅します (デフォルトは3分00秒です) 『▲』ボタン、『▼』ボタンで数値変更	赤ランプが点滅します	(秒)数字の左上に点が出ます
⑥	『パス』ボタンの赤ランプが点灯しているとプログラムした工程を省略します	赤ランプが点灯します	
⑦	工程を追加するときは、『パス』ボタンを押し、赤ランプを消灯させてください	赤ランプが消灯します	
⑧	『設定』ボタンを押します 設定終了です	赤ランプが消灯します	設定終了です

※時間(秒)の変更で『▲』ボタン、『▼』ボタンで数値変更の際、『▲』ボタンを押し続けて59を上回ると、時間(分)の単位がくり上がります。

また、『▼』ボタンを押し続けて0を下回ると、時間(分)の単位がくり下がります。

## ■ 脱水回転の変更

変更工程	工程表	機能コード表	変更
脱水回転の変更	SP	F4	脱水回転 4→3に変更

工程表

表示	内容
L1	予洗
L2	本洗
L3~L5	すすぎ
SP	脱水

工程と工程時間です

料金と残り時間です

機能コード表

表示	内容
F1	ドラム回転
F2	水位
F3	洗い回転
<b>F4</b>	<b>脱水回転</b>
F5	温水
F6	温度
F7	排水
C1~C3	ソープ
So	ソフト剤
Cd	中脱時間

赤ランプ(LED)表示

状態	表示
点灯	●
点滅	☀
消灯	○

操作方法		ボタン操作	表示内容
①	コース選択ボタンの『1』を押します	赤ランプが点灯します	1 コースの金額を表示します
②	『設定』ボタンを3秒間長押しします	赤ランプが点滅します	全工程の時間を表示します
③	『工程』ボタンを押し、工程を【SP】にします ※『工程』ボタンを押すごとに工程が【L1】～【SP】と切り替わります		変更する工程を選びます
④	『機能』ボタンを押し、機能を【F4】にします ※『機能』ボタンを押すごとに機能が【F1】～【Cd】と切り替わります		変更する機能を選びます
⑤	(回転数)の変更をします 『▲』ボタン、『▼』ボタンで数値変更		数値を変更します
⑥	『設定』ボタンを押します 設定終了です	赤ランプが消灯します	設定終了です

# 7 標準プログラム

工場出荷時には、あらかじめ標準プログラムを設定しています。

各プログラムの設定内容を変更するときは、P36 [6.5] プログラム設定方法を参照してください。

## 7.1 標準プログラム(CW-122)

1コース：標準洗濯コース 全工程時間＝30分00秒

	時間	ドラム回転F1	水位F2	洗回転F3	脱回転F4	温水F5	温度F6	排水F7	ソープ1C1	ソープ2C2	ソープ3C3	ソフト剤So	中脱Cd	金額Pr
予洗 L1	2分30秒	5	3	3	0	0	50	0	0	0	0	0	60秒	700円
本洗 L2	8分00秒	5	3	3	1	0	50	0	7.0	0	0	0	120秒	
すすぎ1 L3	3分00秒	5	3	3	1	0	50	0	0	0	0	0	60秒	
すすぎ2 L4	3分00秒	5	3	3	1	0	50	0	0	0	0	7.0	60秒	
すすぎ3 L5	3分00秒	5	2	2	1	0	50	0	0	0	0	0	60秒	
脱水 SP	10分00秒	---	---	---	4	---	---	---	---	---	---	---	---	

2コース：少量洗濯コース 全工程時間＝30分00秒

	時間	ドラム回転F1	水位F2	洗回転F3	脱回転F4	温水F5	温度F6	排水F7	ソープ1C1	ソープ2C2	ソープ3C3	ソフト剤So	中脱Cd	金額Pr
予洗 L1	2分30秒	5	3	3	0	0	50	0	0	0	0	0	60秒	500円
本洗 L2	8分00秒	5	2	2	1	0	50	0	5.5	0	0	0	120秒	
すすぎ1 L3	3分00秒	5	2	2	1	0	50	0	0	0	0	0	60秒	
すすぎ2 L4	3分00秒	5	2	2	1	0	50	0	0	0	0	5.5	60秒	
すすぎ3 L5	3分00秒	5	2	2	1	0	50	0	0	0	0	0	60秒	
脱水 SP	10分00秒	---	---	---	4	---	---	---	---	---	---	---	---	

3コース 全工程時間＝【未使用】

	時間	ドラム回転F1	水位F2	洗回転F3	脱回転F4	温水F5	温度F6	排水F7	ソープ1C1	ソープ2C2	ソープ3C3	ソフト剤So	中脱Cd	金額Pr
予洗 L1														
本洗 L2														
すすぎ1 L3														
すすぎ2 L4														
すすぎ3 L5														
脱水 SP														

4コース 全工程時間＝【未使用】

	時間	ドラム回転F1	水位F2	洗回転F3	脱回転F4	温水F5	温度F6	排水F7	ソープ1C1	ソープ2C2	ソープ3C3	ソフト剤So	中脱Cd	金額Pr
予洗 L1														
本洗 L2														
すすぎ1 L3														
すすぎ2 L4														
すすぎ3 L5														
脱水 SP														

5コース：ドラム洗浄コース 全工程時間＝1分10秒

	時間	ドラム回転F1	水位F2	洗回転F3	脱回転F4	温水F5	温度F6	排水F7	ソープ1C1	ソープ2C2	ソープ3C3	ソフト剤So	中脱Cd	金額Pr
予洗 L1	45秒	5	1	5	1	0	50	0	0	0	0	0	20秒	

注)  は、パスされている工程

## 7.2 標準プログラム(CW-222)

### 1コース：標準洗濯コース 全工程時間 = 30分00秒

	時間	ドラム回転F1	水位F2	洗回転F3	脱回転F4	温水F5	温度F6	排水F7	ソープ1C1	ソープ2C2	ソープ3C3	ソフト剤So	中脱Cd	金額Pr
予洗	L1	2分30秒	5	3	3	1	0	50	0	0	0	0	60秒	1000円
本洗	L2	8分00秒	5	3	3	1	0	50	0	8.5	0	0	120秒	
すすぎ1	L3	3分00秒	5	3	3	1	0	50	0	0	0	0	60秒	
すすぎ2	L4	3分00秒	5	3	3	1	0	50	0	0	0	8.5	60秒	
すすぎ3	L5	3分00秒	5	2	2	1	0	50	0	0	0	0	60秒	
脱水	SP	10分00秒	---	---	---	5	---	---	---	---	---	---	---	

### 2コース：少量洗濯コース 全工程時間 = 30分00秒

	時間	ドラム回転F1	水位F2	洗回転F3	脱回転F4	温水F5	温度F6	排水F7	ソープ1C1	ソープ2C2	ソープ3C3	ソフト剤So	中脱Cd	金額Pr
予洗	L1	2分30秒	5	3	3	1	0	50	0	0	0	0	60秒	800円
本洗	L2	8分00秒	5	2	2	1	0	50	0	7.0	0	0	120秒	
すすぎ1	L3	3分00秒	5	2	2	1	0	50	0	0	0	0	60秒	
すすぎ2	L4	3分00秒	5	2	2	1	0	50	0	0	0	7.0	60秒	
すすぎ3	L5	3分00秒	5	2	2	1	0	50	0	0	0	0	60秒	
脱水	SP	10分00秒	---	---	---	5	---	---	---	---	---	---	---	

### 3コース 全工程時間 = 【未使用】

	時間	ドラム回転F1	水位F2	洗回転F3	脱回転F4	温水F5	温度F6	排水F7	ソープ1C1	ソープ2C2	ソープ3C3	ソフト剤So	中脱Cd	金額Pr
予洗	L1													
本洗	L2													
すすぎ1	L3													
すすぎ2	L4													
すすぎ3	L5													
脱水	SP													

### 4コース 全工程時間 = 【未使用】

	時間	ドラム回転F1	水位F2	洗回転F3	脱回転F4	温水F5	温度F6	排水F7	ソープ1C1	ソープ2C2	ソープ3C3	ソフト剤So	中脱Cd	金額Pr
予洗	L1													
本洗	L2													
すすぎ1	L3													
すすぎ2	L4													
すすぎ3	L5													
脱水	SP													

### 5コース：ドラム洗浄コース 全工程時間 = 1分10秒

	時間	ドラム回転F1	水位F2	洗回転F3	脱回転F4	温水F5	温度F6	排水F7	ソープ1C1	ソープ2C2	ソープ3C3	ソフト剤So	中脱Cd	金額Pr
予洗	L1	45秒	5	1	5	1	0	50	0	0	0	0	20秒	

注)  は、パスされている工程

# 8

# トラブル表示について

## 8.1 トラブルモニター表示



- オーナー様が下記をチェックしてください。
- 「オーナー対処」でも解除しない場合は「販売店またはメーカー」に連絡してください。

## 8.2 エラーの内容と解除方法

※運転中「トラブル」が発生した場合、機械が停止して発信音が鳴ります。

表示	エラー名	原因	オーナー対処	販売店 or メーカー
Er 0	停電エラー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運転中に停電が発生した</li> <li>・運転中に動力電源電圧が170V以下に低下した</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自動復帰…停電復帰後、停電が発生した所から再スタート</li> <li>・手動復帰…停電復帰後、スタートボタンを押して再スタート、リセットボタンを押すと待機状態へ戻る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ブレーカーチェック (漏電等)</li> <li>・元電源測定 AC200V</li> <li>・電源ケーブルが外れていないか確認</li> </ul>
Er 1	水位エラー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・15分経っても設定水位に到達しない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・給水用(給湯)のバルブが作動していることを確認</li> <li>・給水用配管の水圧、サイズ、水漏れを確認</li> <li>・排水弁が閉じていることを確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・給水用電磁弁(給湯用電磁弁)が正常に動作しているか確認</li> <li>・水位用圧力センサ異常 (ホースのねじれ・外れ等)</li> <li>・排水弁が正常に動作しているか確認</li> </ul>
Er 2	水温エラー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・95℃以上の水温を5秒以上検知した</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・温水ボイラ等の給湯の温度を確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・給水用電磁弁(給湯用電磁弁)が正常に動作しているか確認</li> <li>・温度センサが正常に感知しているか確認</li> </ul>
Er 3	排水エラー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・8分経過しても排水レベル以下に到達しない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ドラム内に水、泡が残っているかを確認</li> <li>・排水弁の動作を確認 (ゴミ詰りなど)</li> <li>・ソープ投入時間の見直し (泡ギリ)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・排水弁の動作確認 (動作、ゴミ詰り)</li> <li>・ソープ投入時間の見直し (泡ギリ)</li> <li>・給水弁確認</li> <li>・排水溝点検</li> <li>・排水回路確認、水位計確認</li> </ul>
Er 5	ドアオープン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運転中にドアが開いた</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ドアをしっかり閉めて再度スタートボタンを押す</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ドアロックの確認</li> <li>・ドアボタンの点検、交換</li> <li>・ドアパッキンのあたり調整</li> </ul>
Er 6	アンバランスセンサ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンバランスセンサによる脱水のリトライでX回数を行っても検知した</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・洗濯物の片寄りを修正 (修正後再スタートする)</li> <li>・洗濯してはいけない物が入っていないか、ドラムの中を確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンバランススイッチの確認</li> </ul>
Er 8	ドラムINVエラー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ドラムモータに過負荷がかかり、インバータでINVエラーを検知した</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リアEカバーを開け、ドラム用インバータの表示を確認</li> <li>・本機の元電源スイッチを入れなおす</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ドラム点検、インバータ配線</li> <li>・インバータ点検 (モータ含む)</li> <li>・インバータの故障</li> </ul>

表示	エラー名	原因	オーナー対処	販売店 or メーカー
Er 13	水位センサオープン	・水位センサが断線している ・水位センサのコネクタおよび線が外れている	・水位センサのコネクタおよび線を確認	・水位センサの点検、交換
Er 14	水位センサショート	・水位センサが接触不良または故障している	・水位センサがショートしている	・水位センサの点検、交換
Er 15	水温計オープン	・水温計センサが断線している ・水温計センサのコネクタおよび線が外れている	・水温計のコネクタおよび線を確認	・水温計の点検、交換
Er 16	水温計ショート	・水温計センサが接触不良または故障している	・水温計がショートしている	・水温計の点検、交換
Er 21	水位異常エラー	・水位が以上に高く(12度)なった ・停止中に水位が上がってきた	・給水弁/リレーの確認 ・給湯弁/リレーの確認	・給水弁の点検、交換 ・給湯弁の点検、交換
Er 22	ドアセンサエラー	・運転中にドアが開いた ・停止中にドアセンサ不良が発生した	・ドアハンドルの開閉の確認	・ドアハンドルの動作確認 ・ドアロックの確認、交換修理
Er 23	排水弁異常	・排水弁動作時に開閉信号を検出しない	・排水弁の動作確認 ・排水弁のリミットスイッチ確認	・排水弁の動作確認(動作、ゴミ詰り) ・排水回路確認用 ・マイコンの信号確認
door	ドアオープン	・運転停止中にドアが開いた	・ドア開閉の確認	・ドアロックの確認、交換修理
CE	コインセレクタエラー	・コインセレクタまたはプリペイドカードリーダーの異常	・元電源を入れ直す(OFF/ON) ・販売店にお問い合わせ	・コインセレクタの掃除、点検 ・コインセレクタの交換修理
CLr	CPU基板 設定保存用 電池異常 (RAM破損)	・CPU基板の電池切れ、または電池の電圧不足(設定保存用)および設定(RAM)の破損	・リセットスイッチを押す	・CPU基板の電池(設定保存用)を交換し、リセットスイッチを押す(※1)
nCLr	①ソフトバージョンアップ異常	①ソフトバージョンアップ後、RAMクリアせず電源を投入した時	①リセットスイッチを押す	—
	②CPU基板設定保存用電池異常	②CPU基板の電池切れ、または電池の電圧不足(設定保存用)	②リセットスイッチを押す	②CPU基板の電池(設定保存用)を交換し、リセットスイッチを押す(※2)
Er 53	機種選択ミスエラー	・機種選択が設定されていない番号を選択した	・機種選択が設定されていない番号を選択してしまった(番号確認)	—
F-ng	データバックアップ失敗	・設定(F-ROM)の書込み、読み込みに失敗した時	・リセットスイッチを押す(※3)	—
Er ※4 (その他エラー)	CPUエラー	・CPUの損傷、ノイズによるCPU処理の誤作動	—	・マイコンの信号確認 ・マイコン基板の交換

※1：工場出荷時の設定に戻ります。再度プログラム、日時、デیلیー回数、トータル回数の設定を行ってください。

※2：日時のずれが発生してしまうため、再度日時の設定を行ってください。

※3：トラブルモニター解除後、再度設定の書き込み、読み込みを行ってください。

※4：上記表に記載のないエラーコードを表示した場合は、CPUエラーとなります。



**注意**

処置を行っても「エラー」が解除にならない場合はお買い上げの販売店までお問い合わせください。



**原因究明**

## 8.3 停電時の処置

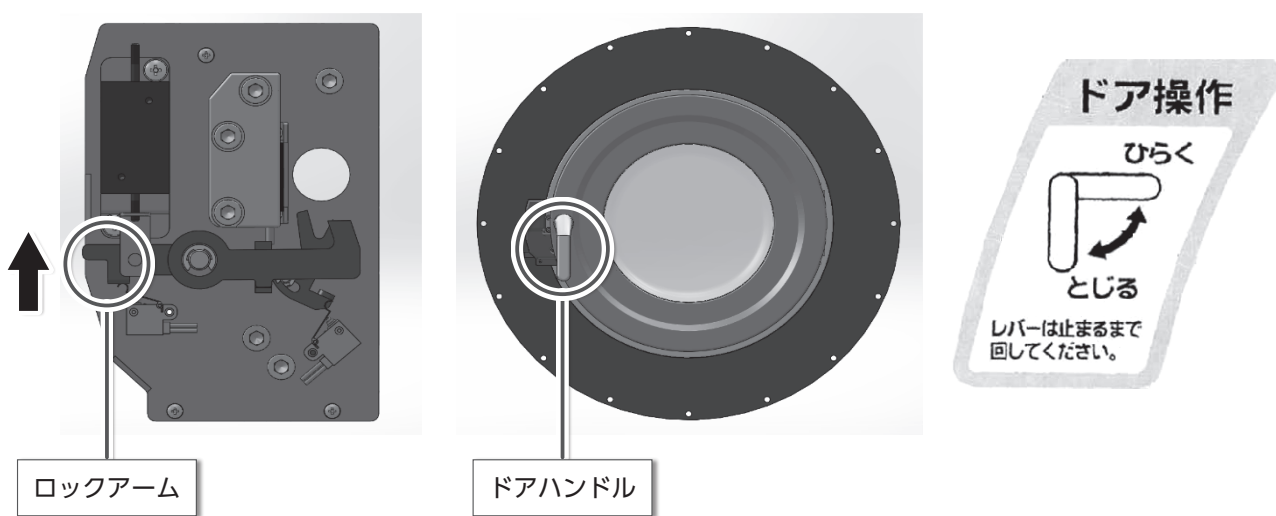
- ・運転中に停電になった場合、運転を停止し、排水弁は動作しません。また、ドアはロックされたまま開きません。
- ・洗濯物を取り出すときは、ドラムが回転していない状態で、水位がドアの最下部より低いとき（ドアを開けても水または湯が本体より溢れ出ない状態）のみ、ドアを開けてください。

①ドアを開けても水または湯が本体より溢れ出ないことを確認してください。

②ロックアームを上へ持ち上げて、ドアロックを解除し、ハンドルを回してドアを開けてください。

※停電後、本体に通電されると、運転を続きから行います。

※運転を途中で中止するときは、ストップボタンで運転を一時停止し、リセットボタンを押してください。



**警告**

◆ドラムが完全に止まるまでは、ドアロックを解除しないでください。

ドラムの回転中にドラムの中に手を入れると、衣類が手などに巻きついて、ケガをするおそれがあります。



禁止



**警告**

◆停止中でもドラム内に水(湯)がたまっているときは、ドアを開けないでください。

ドラム内の水が高温になっていることがありますので、やけどをするおそれがあります。





また電気部品の冠水は、漏電や感電、ショートによる火災の原因になります。



禁止



# 9 点検・整備

 <b>注意</b>	◆日常点検は毎日の始業前に点検してください。 日常点検また、異常振動、音などの異常を確認してください。 放置すると火災、爆発の危険性があります。	 点検実施
 <b>注意</b>	◆点検や整備は元電源を切ってから行ってください。 感電や、やけど、けがのおそれがあります。	 電源を切る

いつも安心してご使用いただくため、つぎの点検を行ってください。

## 9.1 日常点検

### (1) 機械本体の点検

- ・機械本体の各パネル、操作パネル、ドアなどを乾いた柔らかい布で清掃してください。  
汚れが落ちにくいときは、中性洗剤を布に浸してから清掃してください。
- ※ベンジン、シンナー、アルコールなどを使用すると機械の損傷のおそれがあります。

### (2) ドラム内の点検

- ・ドラム内に釘や硬貨など異物がないか確認

### (3) ドアパッキンの点検

- ・ドア内側のパッキンにほこりが付着していないか確認
- ・ドアパッキンの外れがないか確認

### (4) 水漏れの点検

- ・ドア、または各ホース類から水漏れがないか確認

### (5) 異常音、異常振動の点検

- ・異常音、異常振動がないか確認

### (6) コイン回収

- ・前面のコインケースは専用の鍵で開きます。
- ・コインケースを手前に引き出し、コインケース内のコインを回収してください。



## 9.2 定期点検

### (1) 洗剤、柔軟剤の点検

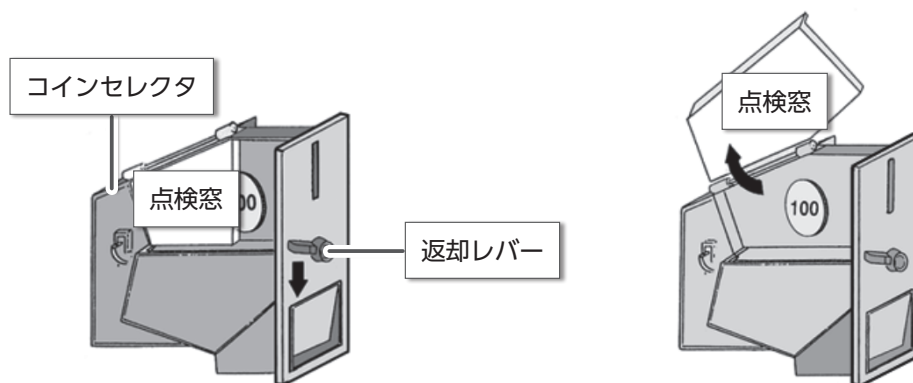
- ・洗剤および柔軟剤が空になっていないか確認

### (2) 操作ボタンの点検

- ・操作ボタン割れ等の破損がないか確認

### (3) コインセレクタの動作/点検

- ・正常に動作しているか確認
  - ・フロントパネルセンタの固定ボルト3ヵ所を取り外し、コインセレクタ全体を手前に引き出します。
  - ・下図に示す様に、コインセレクタ前面の返却レバーを下げて左側の点検窓を確認してください。
- ※コインセレクタに硬貨づまりを起こした場合は、点検窓を手で持ち上げ、詰まっている硬貨を取り除いてください。



### (4) カードリーダーの動作/点検(オプション)

- ・正常に動作しているか確認
- ・クリーナー(別売)にてカードリーダーを清掃

### (5) フリッカーランプの点検(オプション)

- ・集中精算機で機械を選択し、フリッカーランプが動作するか確認

### (6) ノンリセットカウンタの点検(オプション)

- ・コインセレクタに100円または500円硬貨を入れ、カウントされるか確認

### (7) 設置状態の点検

- ・本体にガタつきがないか確認
- ・本体内部から異常音がないか確認
- ・アンカーボルトの緩みがないか確認

### (8) パネルストッパの点検

- ・可動部の割れ、ひび、ネジの緩みがないか確認

### (9) アンバランスSWの点検

- ・アンバランスSWの感知棒が正常に動作するか、破損してないか確認
- ・プレート(B)アンバランスSWの中央位置に感知棒があるか確認

※アンバランスSW調整の詳細は、**P11(5)アンバランス検出スイッチの調整**を参照してください。

### (10) コインセレクタの清掃

- ・コインセレクタを分解し、清掃

### (11) サーミスタなどのセンサ部の点検

- ・センサにほこりがついていないか確認

(12) アブソーバの点検

- ・オイル、ガス漏れがないか確認

(13) オイルシール部の給油

- ・オートグリスの交換

※オートグリスの取り付け詳細は、P17 [2.6] オートグリス取付方法を参照してください。

(14) ベアリング部の給油

- ・1年に1度、メインシャフトのベアリングにグリスを注入してください。

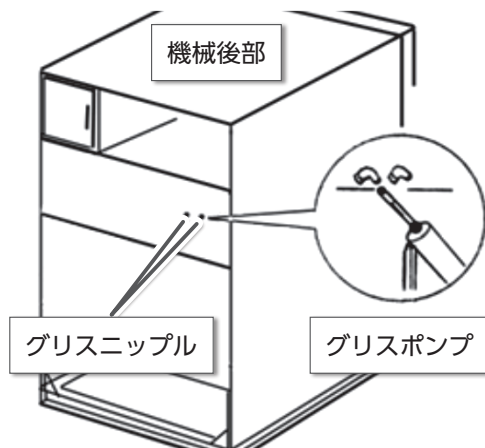
指定グリスは下記の通りです。

昭和シェル石油	出光石油	JX日鉱 日石エネルギー	コスモ石油 ルブリカント	エクソン モービル
アルバニア EP-2	ダフニー エポネックス EP No.2	JOMO リゾニック EP-2	ダイナマックス EP No.2	モービラックス EP-2

※工場出荷の際は昭和シェル石油「アルバニア EP-2」が入っています。

① 注入量について

機種	フロントベアリング側 注入量 (g)	リアベアリング側 注入量 (g)
CW-122	5	5
CW-222	35	20



② 注入方法

本機のグリス注入口は、機械後部に2カ所あります。

- ・ドラムを回転(機械を運転)させ、グリスニップルへポンプのノズルを差し込み、グリスを注入してください。

(フロントベアリング/リアベアリングの2カ所あります)

※指定グリスを注入してください。

※グリス注入回数は、使用するグリスポンプによって異なります。

※グリスポンプは付属されません。

- ・グリスポンプ小(KH-120)注入回数

- ・グリスポンプ大(CH-400)注入回数



※1ストローク：0.55g注入



※1ストローク：0.9g注入

機種	フロントベアリング側 注入回数	リアベアリング側 注入回数
CW-122	8～11	8～11
CW-222	60～65	33～38

機種	フロントベアリング側 注入回数	リアベアリング側 注入回数
CW-122	4～6	4～6
CW-222	35～40	20～25

(15) 駆動部の点検

- ・Vベルトの摩耗、損傷の確認

(16) 排水口の点検

- ・排水弁動作確認
- ・排水配管のつまりがないか確認
- ・ドラム下部のエアトラップ部の確認

# 保守・点検項目(日常点検)

No.	点検項目	点検内容	期間
1	機械本体	・機械本体の汚れの清掃	1日/1回
2	ドラム内	・ドラム内に釘や硬貨など異物がないことを確認	1日/1回
3	ドアパッキン	・ドア内側のパッキンにほこりが付着していないか確認 ・ドアパッキンの外れがないか確認	1日/1回
4	水漏れ	・ドア、または各ホース類から水漏れがないか確認	1日/1回
5	異常音、異常振動	・異常音、異常振動がないか確認	1日/1回
6	コイン回収	・コインケースを開け、コインの回収を実施	1日/1回

# 保守・点検項目(定期点検)

No.	点検項目	点検内容	期間
1	洗剤、柔軟剤	・洗剤および柔軟剤の有無を確認 ・投入の有無を確認	1週間/1回
2	操作ボタン	・ボタン割れ等の破損がないか確認	1週間/1回
3	コインセレクタ動作	・正常に動作しているか確認 ・コインセレクタ内にコインが詰っていないか確認	1週間/1回
4	カードリーダー (オプション)	・正常に動作しているか確認 ・クリーナー(別売)にて清掃	1週間/1回
5	フリッカーランプ (オプション)	・集中精算機で機械を選択し、フリッカーランプが動作するか確認	1週間/1回
6	ノンリセットカウンタ (オプション)	・コインセレクタに100円または500円硬貨を入れ、カウントされるか確認	1週間/1回
7	設置状態	・本体にガタつきがないか確認 ・本体内部から異常音がないか確認 ・アンカーボルトの緩みがないか確認	1年/1回
8	パネルストッパ	・可動部の割れ、ひび、ネジの緩みがないか確認	1年/1回
9	アンバランスSW	・アンバランスSWの感知棒が正常に動作するか、破損してないか確認 ・プレート(B)アンバランスSWの中央位置に感知棒があるか確認	1年/1回
10	コインセレクタの清掃	・コインセレクタを分解し、清掃	1年/1回
11	サーミスタなどのセンサ部	・センサにほこりがついていないか確認	1年/1回
12	アブソーバ	・オイル、ガス漏れがないか確認	1年/1回
13	オイルシール部の給油	・オートグリスの交換	1年/1回
14	ベアリング部の給油	・メインシャフトのベアリングにグリスを注入する	1年/1回
15	駆動部	・ベルトの摩耗、損傷の確認 ・モータ周辺にほこりがないか確認	1年/1回
16	排水口	・排水弁動作確認 ・排水配管のつまりがないか確認 ・ドラム下部のエアトラップ部の確認	1年/1回

# 10 保証とアフターサービス

## ● ご不明な点や修理に関するご相談

- ・修理に関するご相談ならびに、お取り扱い、お手入れに関するご不明な点はお買い上げの販売店にご相談ください。

## ● 保証書(別添)

- ・保証書は別途添付しております。
- ・保証書は必ず「お買い上げ日、販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取って頂き、内容を良くお読みになった後、大切に保管してください。
- ・本機の保証期間はお買い上げ頂いた日から1年です。  
その他、詳しくは保証書をご覧ください。

## ● 補修用性能部品の保有期間

- ・本機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後「13年」です。
- ・補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## ● 修理を依頼されるときは

- ・異常があるときは、お使いになるのをやめ、電源を切りましてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

### ■ 保証期間中

- ・保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。  
なお、修理に際しましては、保証書をご提示ください。

### ■ 保証期間が過ぎている場合

- ・保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。  
修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

## 《免責事項について》

- ・地震、雷、火災、第三者の行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤使用、その他の異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- ・本製品の使用または使用不能から生じる付随的な障害(事業利益の中断による損失など)に関して、当社は一切の責任を負いません。
- ・取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- ・海外で使用した場合当社は一切の責任を負いません。
- ・この機械は労働安全衛生法の「遠心機械」に該当します

## 《お願い》

- ・労働安全衛生法 第45条1項、労働安全衛生規則第141条3項 第299条により、お客様は1年に1回の自主検査を義務付けられています。
- ・そしてお客様はその記録を3年間保管するよう義務付けられています。
- ・機械を安全に操作し良好な状態に保つため、適切に使用し、適時清掃、点検を行ってください。  
付きましては、サービスマンの定期保守点検サービス(有償)をご利用くださるようお勧めします。

# 11 アフターサービスについて

- ご使用中に異常が生じたときは、使用をやめ電源プラグを抜いてお買い上げの販売店または当社サービス店までご相談ください。  
なお、その際に洗濯脱水機の型式名、製造No.およびお買い上げ時期をお知らせください。

販売店名：

TEL：(            )            -            購入年月日：            年            月            日



本取扱説明書において掲載されているすべての内容の著作権は、株式会社TOSEI(以下当社と  
いいます)に帰属しています。

著作権法および関連法律、条約により、私的使用など明示的に認められる範囲を超えて、本取扱  
説明書の掲載内容(文章、画像、映像、プログラムなど)の一部およびすべてについて、事前の  
許諾なく無断で複製、転載、送信、放送、配布、貸与、翻訳、変造することは、著作権侵害と  
なり、法的に罰せられることがあります。

このため、当社の許可無く、掲載内容の一部およびすべてを複製、転載または配布、印刷など、  
第三者の利用に供することを禁止します。

## 株式会社 TOSEI

本社・工場	〒410-2325	静岡県伊豆の国市中島244	0120-557-338
東京支社	〒141-0022	東京都品川区東五反田1-24-2	(03)6422-7290(代)
中部支店	〒465-0032	愛知県名古屋市名東区藤が丘141	(052)772-3988(代)
関西支店	〒564-0051	大阪府吹田市豊津町30-28	(06)6338-9601(代)
九州支店	〒812-0013	福岡県福岡市博多区博多駅東2-8-3	(092)482-6613(代)
東北営業所・広島営業所・鹿児島営業所			

ホームページのアドレス <https://www.tosei-corporation.co.jp/>